

令和7年度 さくら市の教育

Education of SAKURA City

第22回 こども絵画展 荒井寛方賞

「夏の日の贈り物」
永野 ほず実



「ウミガメ」 稲葉 咲愛



「スイスイ、
キラキラ、
ジンベイザメさん」
石島 葵七星



「はなびが
ぼくまで
とどいたよ」
田口 佳樹



裏表紙絵

作 中 島 千 波 氏「大志櫻」

中島千波氏略歴

- 1945年 10月21日長野県小布施町生まれ
- 1971年 東京藝術大学大学院修了
- 1977年 第32回春の院展、第62回院展でそれぞれ奨励賞受賞
- 1979年 第5回山種美術館賞（山種美術館）「衆生・視」優秀賞受賞
- 2005年 還暦記念「中島千波の世界展」開催
- 2008年 中島千波展〈花がたり おもちゃシリーズ〉
- 2025年 「大志櫻」さくら市ミュージアム収蔵

さくら市の概要

さくら市は、平成17年3月28日に氏家町と喜連川町が合併して誕生した人口約4万4千人、面積約125km²の市である。

本市は、栃木県の県都宇都宮市の北東、栃木県の中央部やや北寄りに位置し、栃木県北西から南東に貫流する鬼怒川の東側に位置する。市の地形は菱形に近く、関東平野の北端部と高原山の南面からのびる丘陵地帯で、鬼怒川・五行川の鬼怒川水系と荒川・内川・江川的那珂川水系が流れ、その流域は、肥沃な水田地帯を成し、水清く緑多い自然環境に恵まれたまちであるといえる。

氏家、喜連川は古代・中世の文書に名前が登場するなど歴史は古く、また近世になると氏家は奥州街道の宿場町として、喜連川は足利氏ゆかりの城下町として栄えた。昭和の町村合併では新たな氏家町、喜連川町が誕生し、幾多の試練を乗り越え確実に歩んできた。

氏家では平成5年度にミュージアム氏家（当時）がオープン、また喜連川では昭和56年の温泉湧出と平成13年の道の駅竣工等により、町の歴史にそれぞれ新たなページを開いた。

そして、平成の大合併として平成17年にさくら市が誕生した。これまで両町が取り組んできた文化の息づく・文化の薫るまちづくりをめざして、心豊かな人づくりに取り組んでいる。

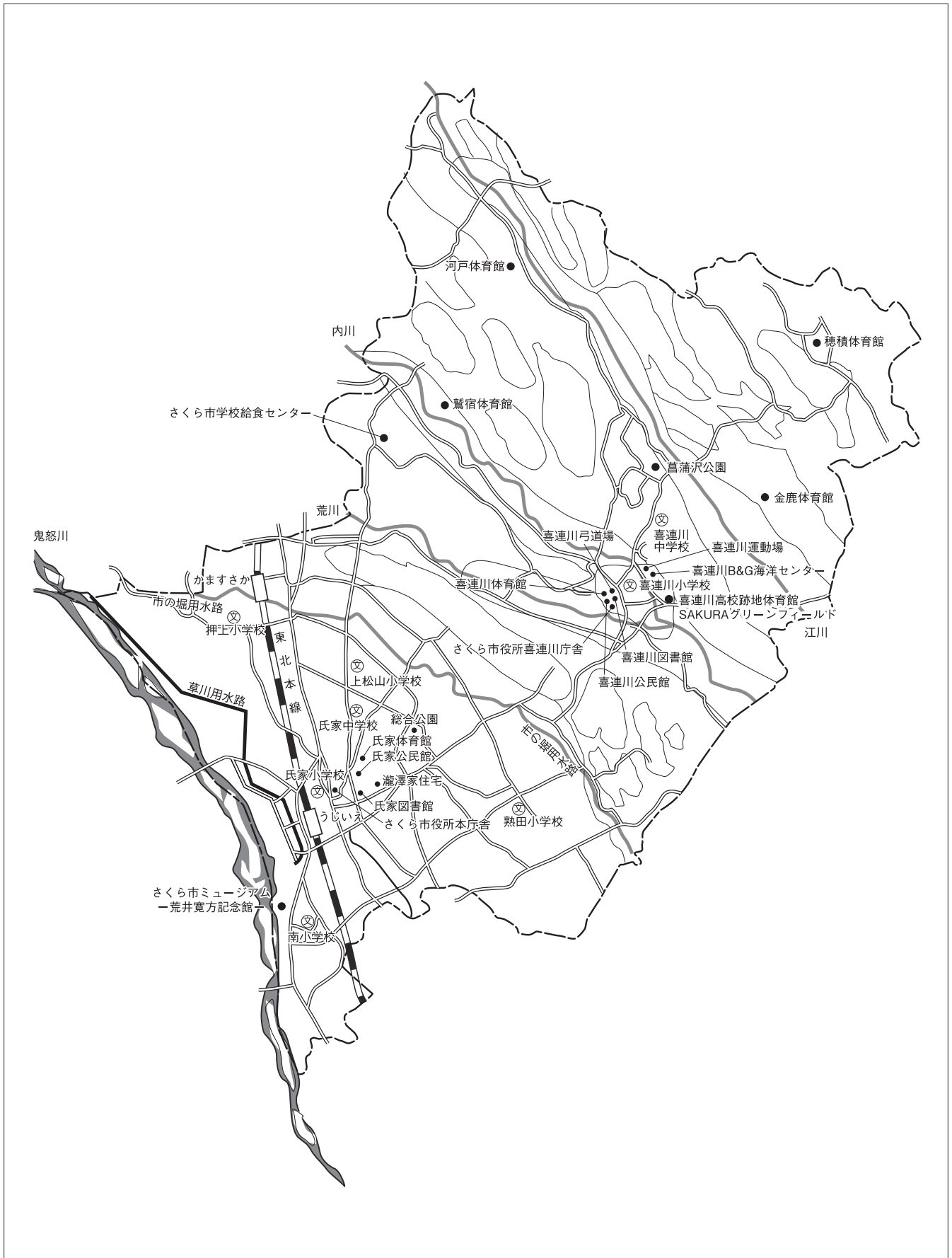


～さくら市章について～



さくら市の「さ」をモチーフに、
花びらのハートは市民がお互いに思いやる心を持ちつつ
未来へ羽ばたくことを表現し、
その心意気を高らかに謳いあげています。
青は豊かな心と英知により、
自然と調和した発展を創造することを表しています。

さくら市全図



目 次

「さくら市の教育」刊行にあたって	4
さくら市教育大綱	5
さくら市教育振興基本計画	6
I さくら市教育全体構想図	7
1 教育を取り巻く状況	8
2 さくら市の教育目標について	12
3 家庭教育支援の目標と主な事業	13
4 青少年教育の目標と主な事業	14
5 社会教育の目標と主な事業	15
6 学校教育の目標と主な事業	16
7 学校教育と社会教育の協働で行う事業	18
★ 人権教育	19
II 教育委員会の概要	
1 教育委員会委員	20
2 教育委員会機構	20
III 学校教育	
1 さくら市立学校の概要	21
2 学校関係団体の事業	27
3 教育研究所の事業概要	30
4 喜連川給食センター	31
5 さくら市学校給食センター	32
IV 生涯学習	
1 生涯学習課事業・講座一覧	33
2 生涯学習課各種委員会	34
3 公民館	35
4 図書館	37
5 さくら市ミュージアム	39
V 社会体育	46
VI 外部評価委員会	49
各種委員名簿	51

令和7年度「さくら市の教育」刊行にあたって

さくら市教育委員会教育長 橋本 啓二

冒頭で失礼ではありますが、右の言葉はご存じでしょうか？詩人の相田みつをさんの作品の中にある言葉で私が一番好んで使わせていただくものです。各学校の教育目標・経営理念などにも「幸せを感じられる学校」といった文言がみられます。では、幸せとはいったい何でしょうか？



人それぞれの価値観で解釈は違いますが、私はこのように感じます。人間は、自らが作りあげた価値観にとらわれ、今が幸せだと感じられないことが多々あるかもしれません。しかし、本当は、自分に都合のいい出来事も、悪い出来事も、すべての出来事が自分を本当の幸せへと教え導くための賜物なのではないでしょうか。日々の学校・家庭生活で心身の疲れもあろうかと思いますが、同じ出来事を経験しても、感じ方や捉え方は人それぞれです。その中で与えられている多くの幸せに気づけるよう、幸せセンサーの感度を上げて、楽しいことをたくさんキャッチしていきましょう。

毎年の如く前置きが長くなり失礼しました。ここに令和7年度「さくら市の教育」を刊行しました。私は、さくら市の教育大綱・さくら市教育全体構想に基づき、生涯にわたる学びのステージを「子どもに夢を、若者に希望を、子育て世代に安心を、高齢者に生きがいを」をモットーに全身全霊であたっていきたいと考えております。学校教育は、生涯学習という大きな括りの中で考えていかなければなりません。令和7年度においては下記の6点を重点事項として教育施策を実施していきます。

- ① 教室の基本4原則【・先生の授業はおもしろい・先生は授業が上手・教室が楽しい・先生は一人一人をよく見てくれている】を基盤とした教育指導などの改善・充実を図る。
- ② 不登校対策については、「COCOLOプラン」等を踏まえ、不登校により学びにアクセスできない子どもゼロを目指し、居場所づくり等、安心・安全な学校風土の醸成に努める。
- ③ 学校用グループウェア：ミライムの活用により、業務の質的・量的な削減・精選を図れるよう、教育DXをさらに推進し、時間的ゆとりの創出から、教員の魅力度向上を目指す。

～※上記3点については、「教育成果目標」を設定し年度末に評価を行う～

- ④ 「地域とともにある学校づくり」・「学校を核とした地域づくり」の実現のために、コミュニティスクールの熟議・活動の見える化、学校ボランティア活動のさらなる活性化を進める。
- ⑤ 「アートな街づくり」のさらなる進化を目指して、体験・交流活動に創意工夫を加え、実施する。展開していくにあたっては、幅広い年代層の参画・交流型の学習機会の提供を心がけていく。
- ⑥ 生涯スポーツの推進においては、「市民ひとりスポーツ」をスローガンに、多様なスポーツ活動の提供に努めるとともに、スポーツ施設の最適化計画を推進する。

さくら市の教育にあたる、また関わる皆様におかれましては十分ご理解・ご協力をいただき、「人が育ち、地域が活きる 未来に誇れる元気なさくら市」にしていきたいと思います。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

さくら市教育大綱

基本理念

気力・体力・学力No.1

凡事徹底の精神で教育の進化を目指します。

目標を達成するために最も大切なことは小さな努力をこつこつと重ねること。当たり前のことを当たり前にやるのではなく、当たり前のことを人には真似できないほど一生懸命にやることが大切です。

教育目標

心身共に健康で、生涯にわたり自己実現し、
社会に貢献できる人づくり

基本目標

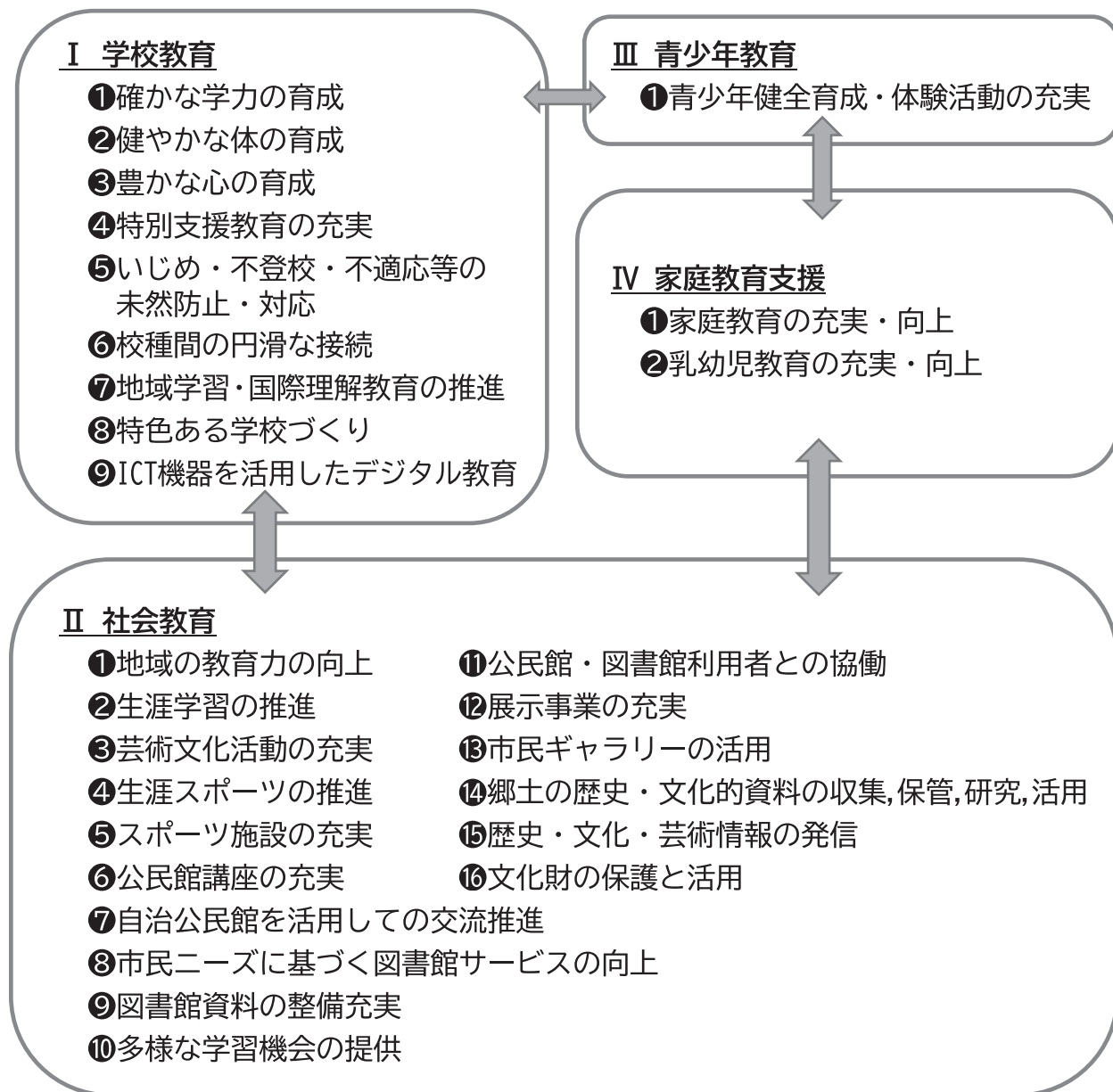
教育目標の実現を図るために、4つのステージにおいて基本目標を掲げ、実現に取り組んでいます。

分 野	基本目標
I 学校教育	一人一人に生きる力の育成を目指す学校教育の充実
II 社会教育	人と人をつなぐ家庭・地域づくりを目指す社会教育の充実
III 青少年教育	さまざまな体験・交流をとおして、自分のよさを見つけられる青少年教育の充実
IV 家庭教育支援	自立できる子どもの育成を目指す家庭教育支援の充実

さくら市教育振興基本計画

✿ 基本的な施策

さくら市教育大綱に掲げられた4つのステージにおける基本目標の達成に向けて、それぞれのステージとの相互連携を図りながら、総合的かつ横断的に施策を展開してまいります。なお、下記に掲げた基本的な施策の具体的な実施内容については、さくら市教育全体構想を毎年度定めることとし、その中で示していくこととします。



1 教育を取り巻く状況

(1) 国・県の動向

《令和の日本型教育より》

我が国の学校は、学習指導のみならず、生徒指導の面でも主要な役割を担い、児童生徒の状況を総合的に把握して教師が指導を行うことで、子どもたちの知・徳・体を一体で育ててきた。また、新型コロナウイルス感染症による全国的な臨時休業措置により、学校は、「学習機会と学力の保障」、「全人的な発達・成長の保障」、「身体的・精神的な健康の保障」という役割があることが再認識されるとともに、日本型学校教育の成果が確認されたところである。

しかしながら、学校及び教師が担うべき業務範囲の拡大・負担の増大、子どもたちの多様化（特別支援教育を受ける児童生徒、外国人児童生徒の増加、子どもの貧困、不登校児童生徒の増加）、生徒の学習意欲の低下、教員不足の深刻化等、様々な課題があふれている。子どもたちが社会へと向かう頃は、さらに急激に変化する時代・予測困難な時代となることが予想される。このような時代だからこそ、子どもたちは、変化を前向きに受け止め、人間ならではの感性を働かせてより豊かなものにしたり、現在では思いもつかない新しい未来の姿を構想したりしていくことができるようにしていかなければならない。そして、一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

そこで、国は、今後実現すべき学校教育を「令和の日本型学校教育」とし、その姿を「全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学び」としている。「個別最適な学び」は、ICT環境の活用、少人数によるきめ細かな指導体制の整備を進めることが重要となる。また、「協働的な学び」は、探究的な学習や体験活動等を通じ、子ども同士で、あるいは多様な他者と協働していくことが重要となる。

栃木県は、「栃木県教育振興基本計画2025-とちぎ教育ビジョン-」を策定し、2021年度から2025年度までの5年間の基本計画を策定している。本計画は、次代を担う子どもたちに、予測困難な時代をたくましく生き抜く力を育むことを重視し、「とちぎに愛情と誇りをもち 未来を描き ともに切り拓くことのできる 心豊かで たくましい人を育てます」を基本理念としている。

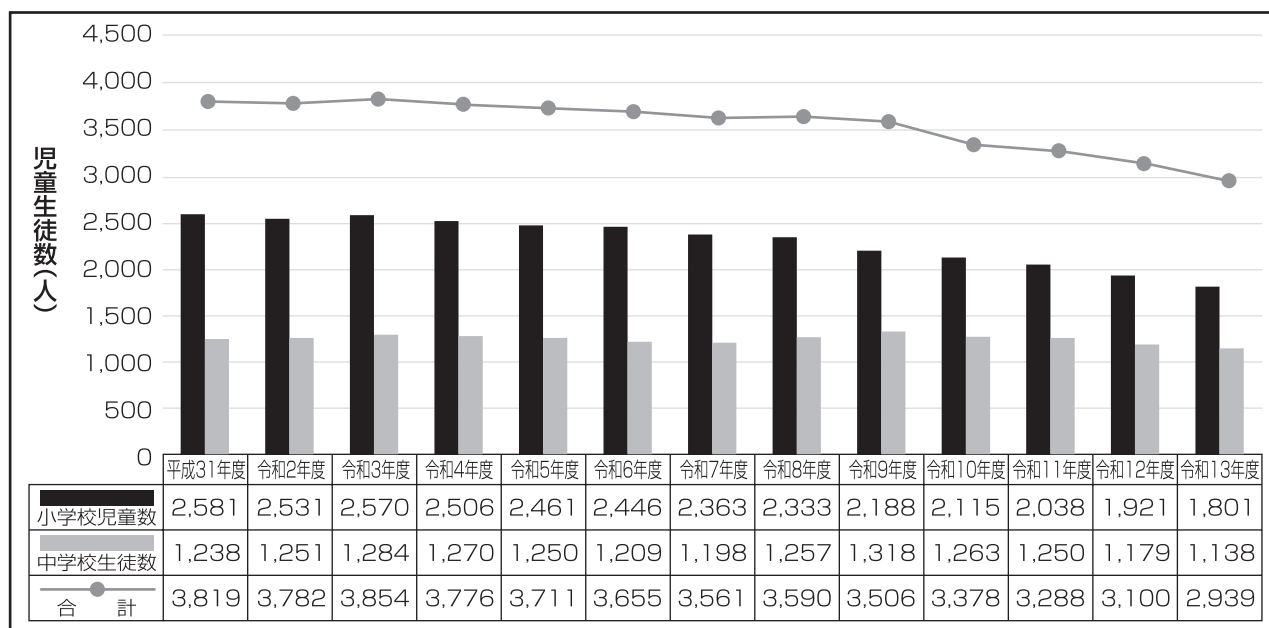
総論として、「1. 教育をめぐる社会の状況 2. 本計画の基本理念 3. 基本目標」が示され、各論として、20の基本施策が示されている。予測困難な時代をたくましく生きていくためには、次のことが必要になると考えている。それは、「自分の目指す未来を自ら描く力を身に付けること」、「描いた未来を実現するために必要な力を身に付けること」、「多様な他者と協働して創造する力・心の豊かさを身に付けること」である。

(2) 本市教育の現状と課題

ア 学校教育の視点から

《児童生徒数》

本市は、令和7年5月現在、小学校6校、中学校2校、計8校の公立小・中学校がある。農山村地帯の学校では、人口減少が進んでいるものの、市街地の学校の中には、児童生徒数の増加が見られるところもある。全国的に人口減少が問題とされる中、学校を増築したり体育館を新設したりしており、人口に占める若年層の割合が県内一高い市でもある。下図は、本市の児童生徒数の推移である。



(令和7年度以前は各年度5月1日時点の数であり、令和8年度以降は令和7年5月時点での推計)

《全国学力・学習状況調査の結果について》

本市は、各教科における調査結果において、平成29年度から年々向上が見られている。概ね、次のような結果が見られる。

R6の調査結果

小学校6年生	国語	…	全国平均を上回る
	算数	…	全国平均を上回る
中学校3年生	国語	…	全国平均を上回る
	数学	…	全国平均をやや下回る

質問紙調査では、「自分によいところがある」、「先生はよいところを認めてくれる」の項目で「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は小学校、中学校ともに全国平均を上回った。「平日の学習について1時間以上勉強している」と回答した小学生の割合も全国平均を大きく上回った。

また、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思っている」の項目では、小中学校ともに8割以上の児童生徒が肯定的な回答をした。ICT機器の活用においては、使用頻度や活用目的（自分に合った学習・考えの共有・表現等）は全国・県の平均と同等であった。

《児童生徒の体力について》

本市の小・中学生の体力の現状については、概ね全国平均なみである。

R6の調査結果

小学校5年生男子	…	全国平均を上回る
小学校5年生女子	…	全国平均を上回る
中学校2年生男子	…	全国平均を下回る
中学校2年生女子	…	全国平均を下回る

質問紙調査によると、次の項目で全国平均を上回った。「体育の授業は進んで学習に参加している」「目標を意識して学習する、友人と助けあったり、教え合ったりして学習する、ICTを使って学習する、学習したことを振り返る活動があることで、できたり、わかったりすることがある」と小中ともに回答している。

一方で、学習以外でのスクリーンタイムに関しては、小学生で全国と同等の数値、中学生では全国平均より高い数値となっている。

※スクリーンタイム：平日1日あたりのテレビ、スマートフォン、ゲーム機等による映像の視聴時間

《児童生徒指導上の課題》

「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」によれば、全国的に不登校児童生徒数は増えている。本市でも、令和2年度から増加傾向にある。

いじめ問題については、いじめ防止対策推進法に基づき、自校の「いじめ防止基本方針」を踏まえることを前提として、日々児童生徒の様子を観察し、些細な変化も見逃さず対応し、未然防止、早期発見・早期対応を進めている。

本市においても、ネグレクトやDV被害を受けている児童生徒、ヤングケアラー、経済的な支援が必要な児童生徒等も報告されている。

近年、全国的に増加傾向にあるSNS（LINE等）上で起こっている誹謗中傷、いじめ問題や動画炎上や闇バイト等のトラブルや犯罪が後を絶たない状況の中、学校での情報モラル教育はもとより、講演会などを実施している。その中で、情報モラルをはじめ、ネット社会はリアルと地続きでスマホのコントロールと併せて感情のコントロールの育成の両輪を軸とし、情報端末機の正しい使い方やトラブルの対処法等を具体的に講演していただいている。引き続き、言葉の責任、ルールを守って活用する健全な心や安全に利用するための危機管理意識を育成していきたいところである。

上記のような課題を踏まえ、本市では全ての学校教育の中で、「この時、この場でどのような行動が正しいか自分で判断して実行する力」、つまり自己指導能力の育成を目指しているところであり、選択する行動が正しいかどうかについて判断する根拠は、自己実現と他の人の主体性の尊重が確保されていると考える。

イ 生涯学習の視点から

《家庭教育》

本市において、家庭を取り巻く環境の変化や子どもたちの変化から、子育てをしている親が悩みや不安を抱えていても相談できないケースもあり、相談や交流の場・機会を提供する等、子育て支援をしながら家庭における教育力の向上を目指す必要がある。

《青少年教育》

核家族化の進行や情報化社会の進展など、青少年を取り巻く現状は激しく変化しており、青少年をめぐる問題は、多様化・複雑化している。青少年の健全育成には、学校、家庭、職場、地域社会、行政など、青少年に関わる全ての主体が一体となって取り組むことが重要である。青少年が社会性や公共性を身に付けるために社会参加活動をさらに充実させ、青少年の活動意欲の向上を図るとともに、社会全体で青少年を見守り、支える環境づくりを推進することが重要である。

《社会教育》

近年、本市に移住してくる住民も増えており、地域の人々との関わりが希薄化している。また、外国人の住民も増えていて、多文化共生社会に向けた転換点を迎えたところといえる。市民が社会の急激な変化に柔軟に対応していくためには、学びの機会を提供するとともに、その成果を地域活動に活かすことで生きがいを感じられるよう、生涯学習の充実を図ることが重要である。

ウ 芸術・文化・体育・スポーツ振興の視点から

《芸術・文化活動》

芸術や文化は、価値観が多様化する中で、心豊かな人生や社会の創造、地域づくりにおいて欠かせないものである。本市では、さくら市ミュージアムを中心に、文化振興や生涯学習のまちづくりに取り組んでいる。ミュージアム等に保存されている資料を後世に伝えるとともに、人々が交流し、新しい文化活動の拠点としての機能が求められる。

《歴史・文化資産の保護・活用》

本市は、交通の要衝として栄えた氏家地区と城下町である喜連川地区というそれぞれに貴重な歴史や文化遺産が残されている。先人が培ってきた郷土の歴史を更に発展させていく必要がある。

《体育・スポーツ活動》

「市民ひとりスポーツ^{いち}」をスローガンに掲げ、各種教室・大会を開催することにより、市民の体力の維持向上を図ってきた。市民の健康づくりの意識高揚、スポーツ・レクリエーションへの関心の高まりに伴い、誰もが気軽にスポーツ等の活動が楽しめる環境づくりが求められている。

2 さくら市の教育目標について

さくら市教育目標

心身共に健康で、生涯にわたり自己実現し、社会に貢献できる人づくり

さくら市教育委員会では、市民一人一人が夢と生きがいをもち、創造性と活力に満ちた心豊かな人生を送れることを望んでいる。そのためには、まず心と体が健康であり、自分の興味関心のもと生涯にわたって自ら学んだり、自己を高めたりすることが重要である。このような、それぞれの時期において、自分のよさを知り、認められ、伸ばすことができ、達成感を感じられる自己実現する力を学校教育や社会教育で培っていく必要がある。

さらに、学んだことを地域社会に生かすこと、すなわち社会に貢献することにより、市民がやりがいや生きがいを感じ、地域社会も活性化されることが期待できる。

言い換えれば、市民一人一人が生涯の各時期に必要とする学習活動を行いながら、コミュニケーション能力を高め、学び合い、実践し合い、振り返り合いながら自らの人格の完成を目指すとともに、家庭や地域社会の形成者としての役割を果たしていくということであり、これらのことが日常化されることにより、豊かな人間性が培われ共に生きる生きがいのある住みよい地域社会がつくられていくのである。

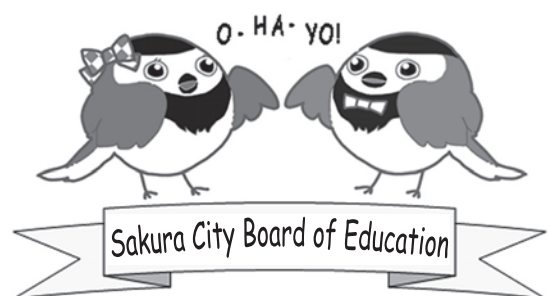
これらをふまえ、市教育目標を「心身共に健康で、生涯にわたり自己実現し、社会に貢献できる人づくり」と設定する。

「自己実現」とは

- ・自分の中にひそむ可能性を自分で見つけ、十分に発揮すること（広辞苑）
- ・自分の目的、理想の実現に向けて努力し、成し遂げること（大辞泉）



地域・保護者・学校 みんなで「朝のあいさつ」



3 家庭教育支援の目標と主な事業

◇家庭教育支援の目標◇

「自立できる子どもの育成を目指す家庭教育支援の充実」

具体的な施策

【生涯学習課】

○家庭教育の充実

- ・ 保護者向け講座の開催
(親子応援講座)
- ・ 子育て応援イベントの開催
(子育てハッピーデー)
- ・ 小1ギャップの解消
(おもしろがっこう)
- ・ 家庭教育通信の発行
(家庭教育ガイドブック)
- ・ (だっこ通信)
- ・ 親子学び合い事業の実施
(ネット時代の歩き方講習会)
- ・ 祖父母講座の開催

【公民館】

○乳幼児教育の充実

- ・ エンゼル講座
- ・ 自主学級の支援
- ・ パパ講座

○家庭教育の向上

- ・ 家庭教育学級の支援

【図書館】

○乳幼児教育の充実

- ・ あかちゃんタイム
- ・ ブックスタート事業
- ・ おはなし会
- ・ わらべうたの会
- ・ プチおはなし会
- ・ 絵本の巡回貸出
- ・ 電子図書の充実



子育てハッピーデー



家庭教育ガイドブック

4 青少年教育の目標と主な事業

◇青少年教育の目標◇

「さまざまな体験・交流をとおして、自分のよさを見つけられる青少年教育の充実」

具体的な施策

【生涯学習課】

○青少年体験活動の充実

- ・ 青少年センターあいさつ活動
- ・ さくらリーダースクラブの充実
- ・ 小中学校芸術鑑賞教室
- ・ さくら未来塾学習、体験コースの育成
- ・ 親子ネット利用講座
- ・ 伝統文化教室の開催
- ・ さくら未来塾学習、体験コースの充実

【公民館】

○青少年の居場所づくり

- ・ 就業体験の受け入れ
- ・ 若者向けの芸術、スポーツ教室

【スポーツ振興課】

○スポーツ活動の充実

- ・ 子どもスポーツ教室、大会の開催
- ・ 親子参加型スポーツ教室、大会の開催
- ・ プロスポーツに触れる機会の創出

【図書館】

○読書活動の推進

- ・ 図書館まつり
- ・ 子ども図書館だより
- ・ 工作会
- ・ 図書館ツアー
- ・ 1日こども図書館員

【さくら市ミュージアム】

○文化・芸術に触れる機会の充実

- ・ こども絵画展
- ・ 体験学習の開催
- ・ ギャラリーコンサートの開催



さくら未来塾



伝統文化教室

5 社会教育の目標と主な事業

◇社会教育の目標◇

「人と人をつなぐ家庭・地域づくりを目指す社会教育の充実」

具体的な施策

【生涯学習課】

○地域の教育力の向上

- ・ 市民大学による地域リーダー育成
- ・ 地域学校協働活動推進員の育成
- ・ 人権教育の推進

○生涯学習の推進

- ・ ゆめ！さくら博の拡充
- ・ 生涯学習振興大会
- ・ でまえ学び塾の実施

○芸術・文化活動の充実

- ・ 文化振興事業の実施
- ・ 文化振興事業への市民参画

【公民館】

○公民館講座の充実

- ・ 高齢者学級
- ・ 公民館ボランティア養成

○自治公民館を活用しての交流推進

- ・ 自治公民館でまえ講座
- ・ 異世代交流

【スポーツ振興課】

○生涯スポーツの推進

- ・ スポーツ教室の充実など
- ・ 栃木ＳＣと連携した事業の実施

○スポーツ施設の充実

- ・ 既存施設の機能充実など

【図書館】

○多様な学習機会の提供

○図書館資料の整備充実 など

【さくら市ミュージアム】

○特別展をはじめ、各種企画展等の開催

○文化財の保護と活用 など



市民大学（みんなの学校）



生涯学習振興大会

6 学校教育の目標と主な事業

◇学校教育の目標◇

「一人一人に生きる力の育成を目指す学校教育の充実」

具体的な施策

1 確かな学力の育成

- ①深い学びに向けた授業改善
【学力向上推進リーダーの活用】
- ②各種調査・検定の実施と結果活用
【国・県・市学力調査】 【漢検受験の奨励】
- ③MIMの実施
【授業時数特例校制度の継続】
- ④小学校教科担任制の推進



MIM研修会

2 健やかな体の育成

- ①学校保健・食育の充実
【市学校保健会】
【生きる力を育む歯・口の健康づくり推進に向けた実践研修】
市献立研究会【地産地消の推進】
- ②体力の向上【とちぎっ子体力雷ジグ広場の活用】
【全国体力・運動習慣状況調査のデジタル化】



市学校保健会
作成資料

3 豊かな心の育成

- ①相手を思いやる心の教育の推進【考え議論する道徳】
【多様性と包摂性を重視した教育】
- ②読書活動の推進【さくら市の4読】
【小・中学生向けさくら市推薦図書の活用】

4 特別支援教育の充実

- ①早期教育相談の充実
- ②配慮児童生徒へのきめ細やかな支援
【個別の支援教室の充実】 【インクルーシブ教育の推進】

5 「誰一人取り残されない」不登校・いじめ・不適応等の未然防止・対応の強化

- ①望ましい学級・集団づくりの推進
【WEB-QUの研究】
【健康観察アプリの活用による不登校未然防止】
【生徒会主体による校則見直し】
- ②悩みを抱える子ども、保護者等の支援
【適応支援教室つばさの充実】
【こども家庭センターとの連携】
【フリースクール通学助成金制度】
- ③情報モラル教育の充実
【ネットいじめ防止講演会】



中学生が選んだ中学生のための
おすすめ本



ネットいじめ防止講演会

6 校種間の円滑な接続

①小中一貫教育の実施

【小中授業研究会】【小中一貫カリキュラム検討】

②幼・保・小の連携推進

【幼・保・小連絡協議会研修】

③キャリア教育の充実

【キャリア教育の推進に向けた実践研究】

7 地域学習・国際理解教育の推進

①地域学習、体験活動の推進

【市制20周年記念事業】【デジタル副読本の活用】

②国際理解教育の推進

【国際交流事業の深化】

【日本語指導体制の充実】【英検助成の拡大】

8 特色ある学校づくり

①SDGs教育の推進（総合的な学習の時間）

②持続可能な防災教育の推進

9 ICT機器を活用したデジタル教育の推進

①授業支援ソフトの効果的な活用

②AIドリル・CBT試験の活用



アメリカ派遣事業



SDGs教育(マイプラスチェックステーション)

施策を支えるもの

I 教員の資質向上

①教師の使命感・専門性・人間性の向上

【研修の充実】【ICT教育アドバイザーの拡充】

【ICTを活用した学習者主体の授業研究】

②多様な児童生徒への理解促進・対応

【自己肯定感・自己有用感を高める研修】

③特別支援教育の充実【教員の理解促進】

II 学校の指導体制の整備

①会計年度任用職員配置

②不登校への対応強化（居場所づくり）

【適応支援連絡会議の充実】

【校内教育支援センターの研究】【専門職の活用】

【アウトリーチの実施】

③教育相談体制の充実【チーム学校】

【SC、SSWrとの協働】

④部活動の地域移行

⑤複数担任制の準備・検討



「さくら学」研修



校務システム検討会議

III 教育環境の整備

①地域とともにある学校づくりの推進

【ホームページの活用】【授業公開の推進】

②働き方改革の推進【校務DXの推進】

③ICT機器の充実【NEXT GIGA】

④新給食センター開業

⑤長寿命化計画に基づく整備【屋内体育施設空調稼働】

7 学校教育と社会教育の協働で行う事業

◆学校と家庭、地域の連携・協働の推進◆

次代を担う子どもたちには、変化の激しい時代に対応するため、高い志や意欲をもつ自立した人間として、他者と協働しながら課題を解決する力が求められています。このような力は、学校だけで育まれるものではなく、家庭における教育はもちろんのこと、地域の多様な人々との関わり、様々な経験を重ねていく中で育まれます。

さくら市教育委員会では、学校と地域が連携・協働するための体制整備を行うとともに、子どもに生きる力を育む様々な連携協働事業に取り組めます。

具体的な施策

(1) 学校・家庭・地域連携協力推進事業

ア さくら未来塾

- ・学力アップコース（小学講座、小学英語講座、夏合宿、中学講座、中学受験対策）
- ・わくわく体験コース（自然里山、農業、ものづくり、職業体験、英語村など）
- ・未来塾リーダー（体験リーダーの育成、事業の企画・運営）

イ 放課後子ども教室

- ・押小っ子ふれあいスクール
- ・喜小っ子ふれあいスクール

ウ コミュニティスクールと地域学校協働本部事業

- ・学校運営協議会の設置、質的向上（学校を核とした地域づくり）
- ・地域学校協働活動の推進（地域とともにある学校づくり）

(2) 家庭の教育力の向上

ア 親子応援講座

- ・各小学校の就学時健康診断での保護者向け講座

イ 家庭教育支援講座

- ・おもしろがっこう（就学前の学校の学習・生活体験）

(3) 部活動の地域移行（令和7年度：1つ）



さくら未来塾（自然里山体験）



喜小っ子 ふれあいスクール



親子応援講座

★ 人 権 教 育

◆基本方針◆

人権は、「人間の尊厳」に基づく人間固有の権利である。我が国の人権に関する現状を見ると、性別、社会的身分または門地等による不当な差別が今なお存在し、また、少子高齢化、国際化、情報化等の社会の変化に伴い、人権に関する新たな課題も生じてきている。これらの課題を早急に解決して、一人一人の人間が尊厳をもつかけがえのない存在であるという考え方が尊重され、守られる社会をつくっていくことが求められている。

さくら市教育委員会では、栃木県人権教育基本方針を踏まえ、「人権教育」を人権尊重の精神の涵養を目的とする教育活動ととらえ、人権教育が様々な人権に関する問題解決において、極めて大きな役割をもつとの認識の下、人権教育を推進する。

(1) 学校教育における人権教育

学校教育においては、人権尊重の精神の形成を図ることを目指し、児童・生徒の発達段階に即しながら、教育活動全体を通じて、人権教育の積極的な推進に努める。

ア 教科等指導、児童・生徒指導、学級経営等など、教育活動全体を通じて、人権尊重の精神に立った学校づくりを進める。

イ 人権教育を教育計画に適切に位置づけ、教育活動全体を通じて行うとともに、点検・評価し、改善を図りながら進める。

ウ 教職員の人権意識の高揚を図り、教職員が人権尊重の理念について十分に理解し、児童生徒が自らの大切さが認められていることを実感できるような環境づくりを進める。

(2) 社会教育における人権教育

社会教育においては、人権に関する学習機会の計画的かつ着実な提供に努める。その際、直接人権をテーマにした事業を実施することに加え、全ての事業に人権尊重の視点を加え、人権教育推進の三つの内容と関連づけて取り組んでいく。

ア 人権に関する多様な学習機会を提供し、参加体験型学習（ワークショップ）を取り入れるなど、参加者が主体的に学べるようにする。

イ 学校・家庭・地域社会及び関係諸機関との連携・協働による人権教育を進める。

ウ 社会教育関係職員等の人権意識の高揚を図るための取り組みを進める。

(3) 学校・家庭・地域社会が一体となった人権教育

人権教育は、学校、家庭、地域社会の連携があつてこそ、大きな成果を挙げることができると。各実施主体は、生涯学習の観点に立って、学校教育、社会教育及び家庭教育のそれぞれの主体性を尊重しつつ、相互に連携を図り、総合的かつ効果的な推進に努める。

Ⅱ 教育委員会の概要

所在地 〒329-1492

栃木県さくら市喜連川4420番地1

電話 028-686-6620

FAX 028-686-5336

電子メール gakukyo@city.tochigi-sakura.lg.jp

交通 JR宇都宮線氏家駅下車

関東自動車フィオーレ線（喜連川役場前下車）

又は馬頭線（本町下車）乗車時間はいずれも約20分

1 教育委員会委員（令和7年7月1日現在）



教育長
橋本 啓二



教育長職務代理者
中村 浩之



教育委員
岡崎 真紀

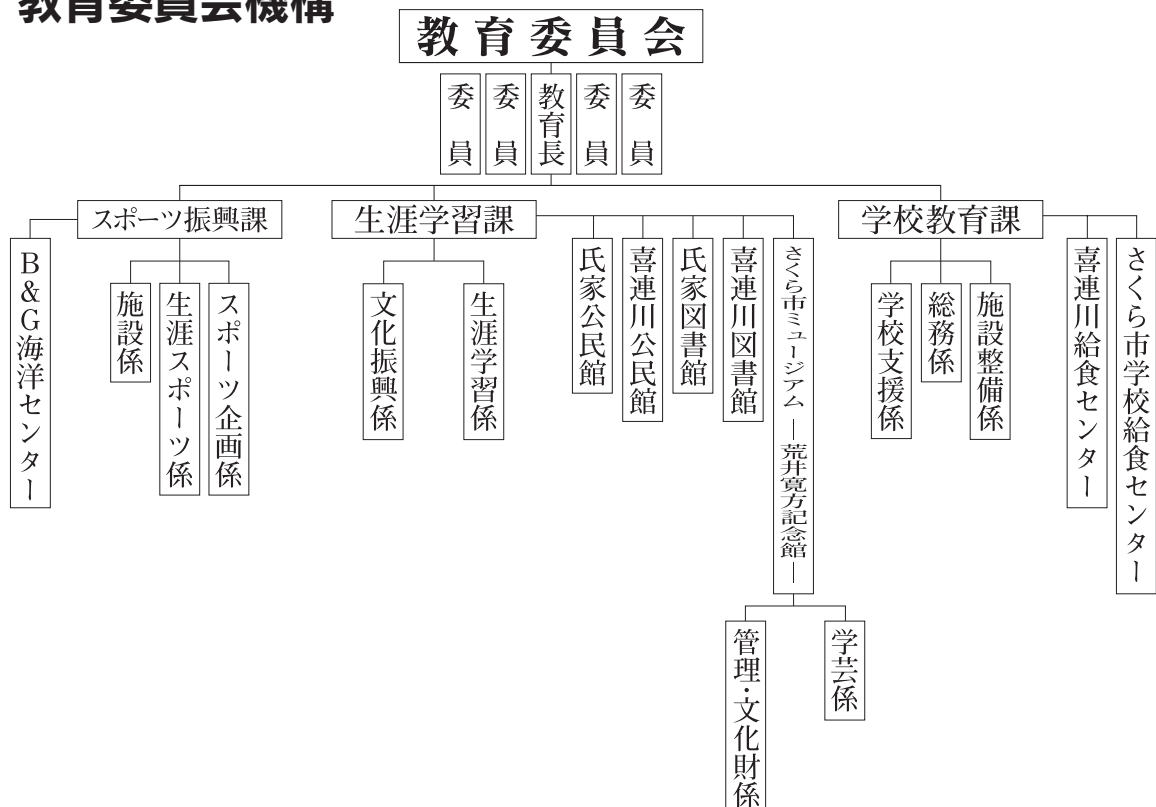


教育委員
稲見 純子



教育委員
船生 正興

2 教育委員会機構



Ⅲ 学校教育

１ さくら市立学校の概要（令和７年５月１日現在）

（１）学校所在地・児童生徒数（※うの花分教室は含まず）

学校名	校長名	所 在 地	創立年月日	電話番号				
					１ 年		２ 年	
					人数	学級数	人数	学級数
氏 家 小	黒田 敦子	さくら市氏家2491	明6.2.28	682-2758	93	3	109	4
押 上 小	仁平 博幸	長久保814	明10.3	682-6844	15	1	15	1
熟 田 小	堀井 篤人	狭間田1702	明4.4	682-6850	16	1	13	1
上松山小	青木 律子	氏家3496	明26.1.7	682-5719	84	3	82	3
南 小	手塚 昌人	氏家1061-3	昭53.4.8	682-9494	81	3	103	3
喜連川小	大登 英樹	喜連川3911	明6.5.26	686-2029	44	2	50	2
計					333	13	372	14
氏 家 中	横須賀好市	氏家3243	昭22.4.1	682-2204	330	10	299	9
喜連川中	加藤 誠	喜連川5691	昭58.4.1	686-2058	63	2	58	2
計					393	12	357	11

（２）教職員数

学校名	県 費 教 職 員																				
	校 長		教 頭		主幹教諭		教 諭		常勤講師 助教諭		非常勤 講師		養護教諭 養護助教諭		事務職員		栄養教諭 栄養職員		計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
氏 家 小		1	2			1	16	19		5	1	2		2	1	1		1	20	32	52
押 上 小	1			1			4	4						1		1		1	5	8	13
熟 田 小	1			1			3	7		1				1		1			4	11	15
上松山小		1	1				8	17		2		2		1		1			9	24	33
南 小	1		1				8	18	2	2		2		1		1		1	12	25	37
喜連川小	1		1				5	14	2	1	1			1		2		1	10	19	29
氏 家 中	1		2		1		26	28		4		1		2	2			1	32	36	68
喜連川中	1		1				7	9						1		1			9	11	20
計	6	2	8	2	1	1	77	116	4	15	2	7	0	10	3	8	0	5	101	167	267

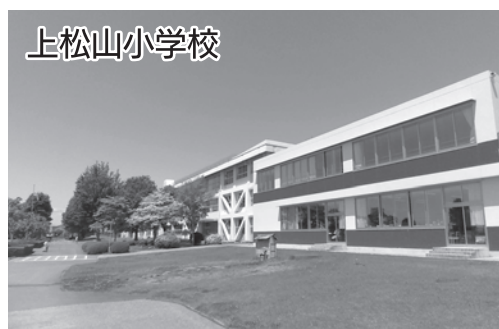
学年別児童生徒数・学級数										計		
3 年		4 年		5 年		6 年		特別支援学級		人 数	学級数	
人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数		通常学級	特支学級
104	3	101	3	142	5	108	4	27	5	684	22	5
9	1	18	1	19	1	21	1	0	0	97	6	0
21	1	15	1	26	1	31	1	13	3	135	6	3
89	3	75	3	81	3	76	3	21	4	508	18	4
96	3	93	3	92	3	89	3	30	5	584	18	5
47	2	64	2	71	3	58	2	21	4	355	13	4
366	13	366	13	431	16	383	14	112	21	2363	83	21
323	10							44	6	996	29	6
65	2							12	3	198	6	3
388	12							56	9	1194	35	9
合 計								168	30	3557	118	30

市費教職員（会計年度任用職員）									総 計
非常勤 講師等	理科 支援員	NLT ALT 英語活動 支援員	栄養士 (正職員)	図書 事務員	労務 職員	給食 配膳員	部活動 指導員	計	
11	1	2		1	1			16	68
4	1			1	1			7	20
4	1			1	1	1		8	23
8	1	1	1	1	1			13	46
9	1	1		1	1			13	50
9	1	2		1	1	2		16	45
3		3		1	1		6	14	82
3		1		1	1	1	7	14	34
51	6	10	1	8	8	4	13	101	368

(3) 学校施設状況

学校名	校 地		校 舎					
	面積㎡	児童1人 当たり㎡	建設年月日	構 造	面積㎡	児童1人 当たり㎡	保有教室	
							普通教室	特別教室
氏 家 小	34,710	50.75	北：S48年3月、9月 南：S50年3月、6月 東：H27年3月	鉄筋コンクリート	7,848	11.47	27	20
押 上 小	30,628	315.75	H11年8月	鉄筋コンクリート	3,879	39.99	6	7
熟 田 小	29,518	218.65	東：S46年2月 西：S63年1月	鉄筋コンクリート	3,762	27.87	8	12
上松山小	30,676	60.39	東：S54年3月、6月 西：S62年3月 新東：R2年3月	鉄筋コンクリート	5,053	9.95	22	11
南 小	42,357	72.53	南：S53年3月 北：H26年7月	鉄筋コンクリート	5,869	10.05	23	14
喜連川小	26,116	73.57	H21年10月	鉄筋コンクリート	6,328	17.83	17	17
氏 家 中	70,645	70.93	北：S58年2月 南：S59年7月	鉄筋コンクリート	9,063	9.10	35	25
喜連川中	73,329	370.35	S57年9月	鉄筋コンクリート	4,894	24.72	9	21

各小中学校のベストショット



屋 内 運 動 場				プ ー ル	
建設年月日	構 造	面積㎡	児童1人 当たり㎡	建設年月日	コース数
S 51年9月	鉄筋	1,198	1.75	H 3年3月	8
H 2年2月	鉄筋コンクリート	898	9.26	H 2年2月	6
S 56年3月	鉄筋	877	6.50	H 5年3月	6
S 55年3月	鉄筋	742	1.46	H 10年3月	6
S 53年3月	鉄筋	742	1.27	H 7年3月	6
H 2年3月	鉄筋	1,092	3.08	H 2年5月	8
第1屋内運動場 S 56年3月	鉄筋	1,848	1.86	H 5年3月	9
第2屋内運動場 H 28年10月	鉄筋コンクリート	2,507	2.52		
S 58年3月	鉄筋	1,293	6.53	S 63年6月	7



(4) 各学校 教育目標・特色ある教育活動・マスコットキャラクター

①氏家小学校

教育目標

- 豊かな心と自ら学ぶ意欲をもつ
たくましい児童を育成する
- ・よく考える子（かしこさ）
 - ・なかよくする子（やさしさ）
 - ・体をきたえる子（たくましさ）

特色ある教育活動

「すべての子どもが輝く学校」を目指し、教職員と児童が「氏小かがやきっずプロジェクト」や「あいさつが響き合う学校」、「凡事徹底」に全力で取り組んでいます。



大志ちゃん

②押上小学校

教育目標

- 豊かな心と主体的に学ぶ意欲をもち、
たくましく生きる児童を育てる
- ・なかよくする子（やさしく）
 - ・かんがえる子（かしこく）
 - ・たくましい子（たくましく）

特色ある教育活動

だれもが安心して力を出し、みんなが幸せを感じる学校を目指しています。また、地域とともにある学校として、学校行事「ふれあいの里」や清掃ボランティア「さくら隊」など、地域連携が活発です。



おしピョン

③熟田小学校

教育目標

- 自らの夢に向かって未来を力強く切り
拓いていく児童を育成する
- ・進んで学ぶ子
 - ・思いやりのある子
 - ・たくましい子

特色ある教育活動

「みんな伸びよう肩くんで」～にこにこ、いきいきたくましく～を合い言葉に、生き生きと自己表現ができ、互いの違いを認めて心が通い合う明るく活気にあふれる温かい学校を目指しています。



つきやまくん

④上松山小学校

教育目標

- 社会の変化に自ら対応でき、創造性に満ち、
健康でたくましく、心豊かな人材を育成する
- ・かんがえる子（かしこさ）
 - ・なかよくする子（やさしさ）
 - ・げんきな子（たくましさ）

特色ある教育活動

豊かな水が流れる百年堀や自然林が残るふるさとの森など、恵まれた環境を生かした活動を推進し、平成25年度全日本学校緑化関係コンクールにおいて特選を受賞しました。



まっぽん

⑤南小学校

教育目標

人間尊重の教育を基盤に、豊かな心を持ち、主体的に生きていくことのできる、心身ともに健康でたくましい人間の育成を目指す

- ・よく考えて勉強する子（かしこさ）
- ・思いやりのある子（やさしさ）
- ・からだを丈夫にする子（たくましさ）

特色ある教育活動

「一人一人が主役『明るく・楽しく・輝く』緑の南小学校」をスローガンに、環境づくりを通して「心の教育」を実践しています。

モリニコ



⑥喜連川小学校

教育目標

知育、徳育、体育の調和を図り、「生きる力」を育成する

- ・自ら学ぶ子（確かな学力）
- ・思いやりのある子（豊かな心）
- ・健康な子（健やかな体）

特色ある教育活動

統合した旧喜連川町5校の長い歴史と伝統を継承しながら、学校支援ボランティア「地域応援隊」の協力で、地域に根ざした多様な教育活動を進めています。

キラリン



⑦氏家中学校

教育目標

知育・徳育・体育の調和を図り「意欲的に学び、豊かな心を持ち、たくましく生きる」生徒を育てる

- ・学業に全力をつくす生徒
- ・情操豊かで思いやりのある生徒
- ・健康で気力ある生徒
- ・進んで働く生徒

特色ある教育活動

「時を守り、場を清め、礼を正す」の生徒指導スローガンのもと、全生徒と全教職員が、挨拶を交わし信頼関係を築いています。温もりのある人間関係の中で「自信と誇りに満ちた学校」を創っています。

氏豆くん



⑧喜連川中学校

教育目標

夢を持ち、ふるさとを愛し、ともに、よりよい未来を求めて、自己の可能性に積極的に挑戦する生徒の育成

- ・自ら学ぶ生徒
- ・思いやりのある生徒
- ・健康な生徒
- ・働く生徒

特色ある教育活動

学校運営協議委員と連携し、総合的な学習の時間を中心に、マイ・チャレンジを発展させ、年間を通して探究的な活動ができる体制づくりのためのコミュニティースクールを目指しています。

きちゅぽん



2 学校関係団体の事業

さくら市では、教職員の資質向上と学校教育の推進を図るため、予算計上を行うとともに、各種研修事業等を行っている。

(1) 教育諸団体

名 称	対 象	期 日	内 容
校長会 (会長：黒田 敦子)	小中学校長	月 1 回	・ 学校教育全般及び基本問題に関すること ・ 課題研修についての協議
教育会 (会長：手塚 昌人)	全教職員	必要回数	・ 会員相互の学術向上、親睦を深めること ・ 各種スポーツ大会への参加
教頭会 (会長：斎藤 美由紀)	小中学校 教頭	月 1 回	・ 学校教育活動の計画・立案・運営に関する こと ・ 課題研修についての協議
主幹教諭・教務主任会 (会長：清水 克子)	小中学校 主幹教諭 教務主任	年 5 回	・ 各学校の教育課程実施上の課題に関する こと ・ 課題研修についての協議
学校事務部研究会 (会長：井上 茂夫)	小中学校 事務職員	必要回数	・ 財政事務の適正化・円滑化に関すること ・ 事務改善についての研修
学校保健会 (会長：加藤 誠)	保健主事 養護教諭等	必要回数	・ 学校保健に関すること ・ 学校保健の充実についての研修
特別支援教育研究会 (会長：堀井 篤人)	特別支援学 級設置校長	必要回数	・ 特別支援学級の学習指導、学級経営につ いての研修 ・ 関連行事の計画・運営に関すること
教育支援委員会 (会長：大登 英樹)	委員委嘱	年 3 ～ 4 回	・ 教育支援に関すること ・ 特別支援教育に関する研究
幼・保・小連絡協議会 (会長：大登 英樹)	運営委員	合同研修、 ブロックご とに随時	・ 幼稚園・保育園・小学校の連携に関する こと ・ 子どもの学びと育ちに関する研修

(2) さくら市教育研究所

さくら市では地方教育行政の組織及び運営に関する法律第30条の規定に基づき、教育に関する調査研究及び教育関係職員の研修を行うために、「さくら市教育研究所」を設置する。

① 調査研究

学校教育における基本的・今日的課題についての調査研究を行い、今後の指導の充実を図る。

○指定校研究

- ・「生きて働く知識・技能の習得」のための実践研究事業
- ・「学びに向かう力・人間性の涵養」を図るための実践研究事業
- ・「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力の育成」のための実践研究事業

○研究内容

研究校にて進め、成果を市内に広げる。研究課題と研究校は次のとおり。

- 1) 学力向上推進リーダーの配置による学力向上実践研究（喜連川小、押上小、上松山小）
- 2) 健やかな体づくりのための食育推進研究（献立研究会）
- 3) 生きる力を育む歯・口の健康づくり推進に向けた実践研究（氏家小）
- 4) 不登校の未然防止に関する研究（デジタルツールの活用：南小）
- 5) 総合的な学習の時間を柱にしたカリキュラム・マネジメントの研究（上松山小）
- 6) 学校安全（防災）実践研究（熟田小）
- 7) キャリア教育の推進に向けた実践研究（氏家中）
- 8) 小中一貫カリキュラムの作成に向けた実践研究（喜連川小、喜連川中）
- 9) 複数担任制の準備に向けた実践研究（押上小）

○調査研究 「さくら市児童生徒の学力向上について」

○調査内容 全国学力・学習状況調査や県版学力調査・市学力調査をふまえた、さくら市の児童生徒の学力向上策を検討する。

○研究奨励 奨励金により個人の研修補助、研究団体等の研究を奨励する。

② 教育相談

さくら市の子どもや保護者との共感的理解に基づいた教育相談の充実を図る。

教育相談員 3名（適応支援教室つばさに配置）

③ 教職員研修

さくら市学校教職員の研修を設け、教育職員としての専門性の向上を図る。

令和7年度さくら市教育委員会・教育研究所 教職員研修事業

No.	研 修 名	対 象	期日(目安)	内 容
1	学力向上推進研修	学習指導主任等 (各校1名) 学力向上 推進リーダー	年2回 8月 2月	・全国学力・学習状況調査やとちぎっ子学習状況調査の本市の結果を踏まえ、各校の授業力向上に向けて取り組みを探る。 ・専門家の講話等を通して、次年度に向けた学力向上の方策を探る。 【講師：県教委義務教育課学力向上推進担当】
2	情報教育実践研修	情報主任 (各校1名) ICT教育 アドバイザー	年3回 6月 9月 11月	・生成AI活用に伴うリスクや課題にも留意しつつ、教育現場での具体的な活用の可能性を探る。また、今後の市内小中学校における生成AIガイドライン作成も見据え、理解と実践の基盤を築くことを目的に研修を行う。
3	表現力向上研修	希望者	8月8日	・表現力を支える語彙力習得のために、子どもたちが楽しんで読書に取り組めるような支援の在り方について学ぶとともに、今後の読書活動の取り組みについて考える。 【講師：Yondemy代表 笹沼 颯太様】
4	MIM研修	1・2年担任 MIM担当者	9～10月頃	・多層指導モデルMIMに取り組み、流暢性のある読みの力を育てる手法について学ぶ。今年度は、初めて担当する教員を対象とし、MIM-PMの効果的な活用法を探る。
5	幼・保・小連絡協議会研修	小学校1年担任 (各校1名以上)	年2回 6月頃 2月頃	・幼稚園・保育園・小学校のネットワーク確立と情報の共有、そして子どもの支援・指導の在り方について実践研究を深めながら教育効果を上げていく。
6	地域を学ぶ 「SAKURA学」研修	希望者 (1～5年目教員、 R7転入者)	8月5日	・市内をめぐりながら市の文化、芸術、歴史等を学習。社会科、総合学習での地域調べなどにも生かせる内容を実施。今年度は、市内の歴史や産業を学ぶ。
7	児童・生徒指導研修 インクルーシブ教育研修	希望者	7月30日	・子どもたちの問題行動の背景を適切に見極め、望ましい行動を引き出すための「行動分析学」や「ポジティブ行動支援」について理解を深め、実践的な児童・生徒支援の在り方について学ぶ。 【講師：東京学芸大学 松山 康成様】
8	特別支援教育研修	特別支援学級担任 通級指導教室担当	年2回 8月下旬 2月頃	・特別支援学級の教育課程及び学習や指導の改善についてともに考える。よりよい支援の在り方や具体的な支援方法を探り、教材教具の工夫も研修する。
9	シリーズ研修 [S1] 市会計年度任用職員 スキルアップ研修	会計年度任用職員 (非常勤講師等)	9月頃	スキルアップ編 ・児童生徒指導や特別支援教育等、非常勤教育職員の方々のスキルアップを目指す。
10	シリーズ研修 [S2] 学校図書事務研修 読書活動推進を目指す研修	会計年度任用職員 (図書事務員)	年10回 程度	・図書事務員のスキルアップとネットワークづくりを目指した研修。電算化された学校図書の活用や、子どもたちの読書活動の推進を図る方策を考える。
11	シリーズ研修 [S3] 理科支援員研修 実験の準備や片付け、 授業の補助に関する研修	会計年度任用職員 (理科支援員)	年7回 程度	・理科支援員どうして情報交換をしながら、資質向上を目指した研修。子どもたちの理科離れを防ぐ方策について考える。
12	シリーズ研修 [S4] 個別の支援教室支援員 研修 個別の支援教室のあり 方についての研修	会計年度任用職員 (個別の支援 教室担当者)	年5回 程度	・個別の支援教室の担当者どうして情報交換をしながら、よりよい支援のあり方、教室の運営などを協議したり勉強したりする。
13	シリーズ研修 [S5] 英語授業力向上研修 小中学校の英語教育の 工夫についての研修	英語専科教員 会計年度任用職員 (NLT、英語 活動支援員)	年3回 程度	・児童生徒への関わりを含めた授業の工夫について考え、指導力と資質の向上を図る。 【講師：宇都宮大学 助教 田村 岳充様】

3 教育研究所の事業概要

指定	No.	研究領域・事業名	指定期間	指定校等
文 部 科 学 省	1	スクールカウンセラー等活用事業	令和7年度	氏家中（拠点校） 喜連川中（拠点校）
	2	不登校児童生徒の学校生活適応等支援事業	令和7年度	氏家中 喜連川中
	3	スクールソーシャルワーカー活用事業	令和7年度	氏家中（拠点校） 喜連川中（拠点校）
	4	生きる力を育む歯・口の健康づくり 推進に向けた実践研究	令和7年度	氏家小
	5	学びの保障・充実のための 学習者用デジタル教科書実証事業	令和7年度	全校
	6	部活動指導員配置事業	令和7年度	氏家中 喜連川中
県 教 委	7	英語教育応援チーム派遣事業	令和7年度	氏家中
	8	学校における働き方改革推進事業	令和7年度	南小 氏家中
	9	学力向上推進リーダー派遣事業	令和7年度	押上小 上松山小 喜連川小
市 教 委 ・ 市 教 研	10	小中一貫実践研究	令和7年度	全校 (授業公開…押上小 南小 喜連川中)
	11	MIM実践研究	令和7年度	全小学校
	12	複数担任制の準備に向けた実践研究	令和7年度	押上小
	13	学校安全（防災）実践研究	令和7年度	熟田小
	14	総合的な学習の時間を柱とした カリキュラムマネジメントの研究	令和7年度	上松山小
	15	不登校の未然防止に関する研究 (デジタルツールの活用)	令和7年度	南小
	16	小中一貫カリキュラムの作成に向けた実践研究	令和7年度	喜連川小 喜連川中
	17	キャリア教育の推進に向けた実践研究	令和7年度	氏家中
	18	コミュニティ・スクールの活性化に向けた 実践発表	令和7年度	押上小 喜連川小
	19	健やかな体づくりのための食育推進研究	令和7年度 (7月末まで)	献立研究会 (栄養士、栄養教諭)

4 喜連川給食センター（令和7年7月31日閉鎖）

（1）概要

喜連川給食センターでは、成長期にある児童生徒の心身の健全な発達と、生涯を通して健康な生活を送るために、栄養のバランスのとれた質の高い給食サービスに努め、学校・家庭と連携して食生活の指導を行い、生きる力を育むため健康な児童生徒の育成に努める。

所在地：さくら市喜連川979番地

電 話：028-686-2600



（2）本年度の努力点

- ア 楽しく魅力ある学校給食にするため、創造性のある献立と栄養に配慮した給食づくりに努める。
- イ 献立表と併せて給食だよりを発行し、各家庭に給食の内容を知らせるとともに食に関する正しい理解と望ましい食習慣を促す。
- ウ 良質な食材の確保と調理の創意工夫により食事内容の充実を図る。
- エ 調理技能の向上及び食中毒防止を重点に衛生管理徹底を図り、学校給食を能率的衛生的に実施する

（3）学校給食の概要

ア 形 態 完全給食 週5日（米飯週3日・パン週2日）

イ 給食回数等（令和7年7月末まで）

	給食回数（年間）			1食当たりの量			給食費 （月額）
	米飯 回	パン 回	牛乳 回	米飯	パン	牛乳	
小 学 校	40	30	70	低学年 65g 中学年 80g 高学年 90g	1～3年 45g 4～6年 60g	200cc	（年4回徴収） 4,420円
中 学 校	40	30	70	100g	60g	200cc	（年4回徴収） 5,200円

ウ 給食数

	児童・生徒数	職 員 数	計	学 級 数
喜 連 川 小	353	38	391	14
熟 田 小	132	23	155	6
喜 連 川 中	194	27	221	7
喜連川給食センター		19	19	
合 計	679	107	786	27

各学校の職員数及び喜連川給食センター職員数には、保存食（1）を含む。

5 さくら市学校給食センター（令和7年9月1日供用開始）

（1）概要

さくら市学校給食センターは、令和7年9月より市内すべての小中学校へ学校給食の提供を開始し、1日約4,000食を調理する。児童生徒の心身の健全な発達に資するため、食品の衛生管理、食事内容および食事環境の充実、施設・設備の安全管理、学校・家庭・地域との連携に努め、安全で栄養バランスの取れた学校給食を提供する。



所在地：さくら市鷺宿4432番地2

電話：028-686-2600

建築面積：2,338.85㎡

延床面積：2,858.00㎡

（2）本年度の努力点

- ア 学校給食において年間を通じて地場産物を使用し、食育の推進を図る。
- イ 食物アレルギーを持つ児童生徒が安全に給食を楽しめる環境を整備し、アレルギー対応食（代替食）の提供を行う。また、他の児童生徒に対し食物アレルギーに関する啓発と指導を行う。
- ウ 児童生徒が安心して食事を楽しめるよう、異物混入や食中毒を防止する安全対策および二次汚染防止対策を徹底するとともに、給食従事者の健康管理を強化する。

さくら市学校給食センター
マスコットキャラクター「さくらこ」



Ⅳ 生涯学習

1 生涯学習課事業・講座一覧

区分	事業・講座名	主 な 内 容
家庭 教育	親子応援講座	オピニオンリーダーとの協働による家庭教育に関する研修や講座
	家庭教育ガイドBOOK	小学校入学を控えた保護者を対象に、家庭生活や学校生活を充実させるためのヒントが書かれたガイドブック
	家庭の日イベント 「子育てハッピーデー」	「家族のふれあい」をテーマに市民ボランティアとの協働で、親子映画会の開催と様々な体験を提供
	親子学び合い事業 「ネット時代の歩き方講習会」	インターネット利用の課題と子ども達の目指すべき将来像を示し、親子でネット利用について考える講座
	おもしろがっこう	小学校入学に不安を抱いている親子にプログラムを提供し、学校生活をイメージし適応できるようにするための講座
	家庭教育学級	小学校に通う子をもつ保護者を対象とした保護者の学びと交流の場
青 少 年 教 育	青少年センター事業	青少年の健全育成に関する施策を総合的に推進するための各種事業
	課外さくらスクール ～さくら未来塾～	子どもたちの「気力・体力・学力」を総合的に育むために学力・体験の2コースを開設し多くの学びの機会を提供する課外の学習
	放課後子ども教室	放課後の子ども達を対象とした学習や体験の場の提供と、地域のボランティアとの交流事業
	さくらリーダースクラブ	中高生が地域社会の一員としての自覚を高め、自己啓発や自己実現等の課題達成を目指した、中高生のボランティア活動
	さくらユースボランティア	市内の団体・施設等でのボランティア活動をとおり、地域全体で子どもの成長を支える社会の構築
	二十歳のつどい	社会の一員としての自覚と責任を再確認し、故郷の良さを改めて感じるための二十歳を対象としたつどい
社 会 教 育	人権教育	人権課題を正しく理解し、発達段階に応じた学びの機会を提供し、人権尊重の精神の形成と人権意識の高揚を図る
	でまえ学び塾	市民、企業、公共機関や行政が様々な学習メニューを用意し、希望者に学習機会を提供する出前講座
	ゆめ！さくら博	市民と行政が一堂に会し、学びの成果や取り組み等を紹介し、生涯学習への理解と学びのきっかけと、市民の交流の機会をつくる
	さくら市民大学	その時々での生涯学習の現状や課題を踏まえてテーマを設定し、地域のリーダーを育成する講座
	生涯学習振興大会	生涯学習へのきっかけづくりや市民協働のまちづくりへの機運を高める機会とするための大会
	コミュニティスクール	幅広い地域住民の参画を得て、地域とともにある学校づくりを推進するための仕組みづくり
	地域学校協働本部	幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える活動
	子ども110番の家	個人宅や企業の入り口にパネルを設置し、子ども達の登下校の安全を見守るための制度

区分	事業・講座名	主 な 内 容
文化振興事業	定期文化事業	市民の芸術鑑賞機会を増やし、文化芸術への理解の向上や市民の文化芸術活動の活発化を目指す取り組み
	歴史・文化を通じた地域づくり事業	市内の文化財や文化資源の利活用を図り、市民の伝統文化への理解を深め、次世代へ継承する取り組み
	児童生徒対象文化芸術振興事業	児童生徒の芸術文化活動への参加機運を醸成するため、優れた文化芸術に直接触れる機会を提供
育成補助事業	子ども会連合会	子ども会活動の充実振興を促進するとともに、育成会活動の向上と育成会相互の連絡調整を図る団体の育成補助
	地域婦人会	会員相互の親睦を深め、個々の資質を高め、明るく住みよいまちづくりに寄与するための活動団体の育成補助
	ボーイスカウト	子どもたちの好奇心や探求心にこたえる活動をとおり、心身ともに健全な人材を育成する教育活動団体の育成補助
	少年指導委員会	警察と連携し、少年の非行防止と健全育成並びに少年の安全を確保する活動を推進する団体の育成補助
	家庭教育オピニオンリーダー	研修を受けた子育ての先輩たちによるしつけや発育などの相談や学習会を開催する家庭教育支援団体の育成補助
その他	図書館管理事業	図書資料の充実と各種講座の開催
	塩谷南那須地区社会教育振興協議会	地区内の社会教育委員、職員による連携を図る
	栃木県社会教育委員協議会	県及び市町社会教育委員相互の緊密な連携を図る
	栃木県社会教育指導員協会	県内の社会教育指導員の研修の実施と社会教育の向上を図る

2 生涯学習課各種委員会

No.	協議会・委員会名	内 容 ・ 目 的
1	社会教育委員会及び公民館運営審議会	社会教育事業及び公民館事業の内容検討・調査・研究
2	生涯学習推進協議会	生涯学習推進計画の推進
3	青少年センター運営協議会	青少年センターの運営に関する調査・研究
4	青少年センター少年指導員会	少年育成サポーターによる青少年健全育成活動
5	青少年問題協議会	市青少年健全育成のための総合的な調査・研究
6	親育ち・子育て支援協議会	教育と福祉の連携による保護者への支援と審議
7	地域学校協働活動推進本部	各学校の地域と学校の連携・協働の基盤整備
8	学校運営協議会	学校運営や地域づくりに関する協議・実践
9	図書館協議会	図書館運営に関する調査・審議
10	子ども読書活動支援会議	子ども読書活動推進計画の審議・調査・実践

3 公民館

(1) 概要

社会教育法第20条に「公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。」とある。

公民館は、社会教育法に基づき、市町村で条例を定めて設置している「公立公民館」と住民自らが設置・運営している「自治公民館」とに分けられる。本市では、さくら市公民館条例に従い、氏家公民館と喜連川公民館の2館をさくら市の公立公民館として設置している。

氏 家 公 民 館		喜 連 川 公 民 館
さくら市櫻野1322番地8	所在地	さくら市喜連川4397番地1
028-682-1611	電 話	028-686-6624
028-682-0371	F A X	028-686-5556
u-kouminkan@city.tochigi-sakura.lg.jp	メール	k-kouminkan@city.tochigi-sakura.lg.jp
年末年始（12月29日～翌年1月3日） 第1・3月曜日、毎月第3日曜日	休館日	年末年始（12月29日～翌年1月3日） 第2・4月曜日、毎月第3日曜日
	外 観	

(2) 運営方針

公民館は、市民のための学校として、教育基本法や社会教育法を遵守しつつ、地域学習の拠点となるよう、社会教育学級や公民館講座を実施する。また、学んだ成果を生かしつつ、地域づくりにつなげる活動を支援し、住民の生活文化の向上を図る。

(3) 重点施策

- ・ 公民館施設の整備と施設サービスの向上
- ・ 自治公民館活動の活性化に向けた支援強化
- ・ 花いっぱい運動の推進
- ・ 公民館を拠点とした自主学習の支援と学習成果を生かした地域づくりの支援強化
- ・ 「地域課題」や「必要課題」を捉えた連続講座の実施と仲間づくりの促進

(4) 公民館の事業

No.	事業名	内容
1	公民館ボランティア育成	ボランティアの育成を図るとともに、緑のカーテンの設置や花植え等による環境学習を行い、また餅つき等の行事により世代間交流を推進する。
2	地域子どもプロジェクトSS	地域の大人が子どもとの体験活動を通して、子どもと大人、また大人同士のつながりを深め、地域や家庭の教育力の向上を支援する。
3	自治公民館活用事業	自治公民館を地域の拠点にすることを目的とし、希望に応じ講師派遣や出張講座を行うことで、地域の活性化を支援する。

(5) 社会教育学級と公民館講座

No.	事業名・講座名	目的	事業内容
1	エンゼル講座 (乳幼児・保護者)	乳幼児期の子育てのあり方や、この時期に必要な学習・相談機会の提供	・子育てに関する学び ・ものづくりや交流 ・体験や館外活動 など
2	菜の花学級 (高齢者学級)	高齢期の学習機会の提供、高齢者の生きがいづくりと社会参加を促進	・ものづくり ・運動 ・勉強会 など
3	ウクレレ講座	ウクレレの練習等を通じた交流活動の場の提供	・ウクレレ練習 など
4	けいおん講座	軽音楽の練習を通じた中高生等の休日の居場所づくり	・各種楽器練習 ・発表会（ライブ）
5	キッズ&ファミリーコンサート	未成年者の日頃の活動の成果を発表する機会の提供	・コンサート企画、運営



エンゼル講座



菜の花学級



キッズ&ファミリーコンサート

公民館の施設・利用案内の詳細 ⇒



4 図書館

(1) 概要

社会教育法の精神に基づき、図書館の設置及び運営に関して必要な事項を定めた「図書館法」には、「図書館とは、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設」と定義されている。

本市では、さくら市図書館条例に従い、氏家図書館と喜連川図書館の2館をさくら市の公立図書館として設置している。

氏 家 図 書 館		喜 連 川 図 書 館
さくら市櫻野1321番地	所在地	さくら市喜連川4397番地1
028-682-9889	電 話	028-686-7111
028-681-0082	F A X	028-686-7113
ujjie-lib@vesta.ocn.ne.jp	メール	kitsuregawa-lib@vesta.ocn.ne.jp
年未年始（12月29日～翌年1月3日） 第2・4金曜日、特別整理期間	休館日	年未年始（12月29日～翌年1月3日） 第1・3・5月曜日、特別整理期間
	外 観	

(2) 運営方針

生涯学習の情報発信の基地として、また、市民の憩いの空間として、さらに市民参加による協働型図書館を目指す。そのために、①ニーズに基づいた資料の収集、②ゆとりのある豊かな人生を送るための学習の場を提供する各種講座の開催、③図書館を利用して自主・ボランティア活動を行っている団体への支援の3点を柱に、市民の生活に密着した市民のための図書館運営に努める。

また、より効率的・効果的な運営を推進するために、平成27年度から市立図書館の管理・運営を指定管理者に委託している。

〔指定管理者：大高商事・図書館流通センター共同事業体、期間：～R12.3.31〕

(3) 重点施策

- | | |
|------------------|-----------------|
| ア 図書館資料の整備充実 | オ 自主活動グループの育成強化 |
| イ 図書館施設の環境整備 | カ 図書館協議会の充実 |
| ウ 利用者の拡大促進 | キ 図書館職員の資質の向上 |
| エ 子ども読書活動推進計画の推進 | ク 電子書籍の充実 |

(4) 図書館の事業

ア 定例行事

行事名	開催館	開催日・内容等
おはなし会	氏家	毎週土曜日に、アリスの会による絵本を使ったおはなし会を未就学児や小学生を対象に開催
	喜連川	毎月第1・3・5土曜日に、バーバママによるおはなし会を開催
プチおはなし会・わらべうたの会	氏家	毎月第3木曜日に、アリスの会によるプチおはなし会やわらべうた遊びを0～3歳の幼児とその保護者を対象に開催

イ 季節行事

行事名	開催館	開催日・内容等
民話語り	喜連川	5・8・2月：民話に親しむための語り
段ボールクラフト	氏家・喜連川	7～9月：段ボール製のパーツを使用した工作
図書館まつり	氏家・喜連川	夏頃：普段の図書館では行えない体験の提供
さくちゃん企画	氏家・喜連川	8月：図書館のキャラクターさくちゃんの周知と定着を図り、図書館に親しむための取り組み
子ども図書館員体験	氏家・喜連川	8月：図書館の仕事体験
図書館寄席	氏家・喜連川	秋頃：落語を通した、笑いと伝統文化の提供
朗読会	氏家	12月：朗読を通し、日本語のリズムと音の美しさを味わい、さらに作品を深く理解する取り組み
クリスマス会	喜連川	12月：クリスマスに関する絵本の読み聞かせ
図書館福袋貸出	喜連川	1月：テーマに合わせた福袋での展示、貸出
市民ギャラリー	氏家・喜連川	12～1月：市内中学校や市内活動団体の作品展示
マイチャレンジ	氏家・喜連川	中学生の職業体験



さくちゃんを描こう



民話の会



図書館ツアー



子ども図書館員体験

図書館の施設・利用案内の詳細 ⇒



5 さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－

(1) 概要

ア 概要

所在地 さくら市氏家1297番地

電話 028-682-7123

F A X 028-682-7854

敷地面積 9,836.05㎡

建築面積 2,886.54㎡

延床面積 2,885.62㎡



イ 利用案内

開館時間 午前9時～午後5時（最終入館：午後4時30分）

休館日 月曜日、第3火曜日、国民の祝日の翌日（土日は除く）、
年末年始（12月29日～1月3日）、
その他臨時休館日（燻蒸期間、展示替え期間）

観覧料 一般300（210）円、高校・大学生200（140）円、小・中学生100（70）円
※（ ）内は20名以上の団体料金、市内小・中学生は無料
※特別展開催時は特別料金となる場合がある。

ウ 運営方針

先人が培ってきた郷土の歴史・文化の土壌を更に発展させ、生涯学習の街づくりに寄与するために地域の歴史・文化に関する資料を収集・保存する。また、これらの貴重な資料を後世に伝えるとともに、人々が交流し、新しい文化活動の拠点としての機能を発揮する。さらに、鬼怒川河川公園、勝山城跡、歴史・文化の森の整備により、新たな文化ゾーンの核となる活動を展開していく。

エ 特色

さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－は通常4つの展示構成からなる。このほか、企画展、巡回展等を開催している。また展示活動とは別にギャラリーコンサートや講演会、講座、体験学習、見学会等のほか小中学生を対象とした総合的な学習に対する支援活動を行っている。また芸術文化振興のため、市民等の美術工芸作品などの展示スペースとして市民ギャラリーを開放している。

(2) 主な展示内容（常設）

荒井寛方室

さくら市出身の日本画家で明治から昭和にかけて日本美術院で活躍した荒井寛方の足跡を作品・スケッチ・書簡等で紹介する記念室



野口雨情コーナー

日本三大童謡詩人の一人、野口雨情の最初の妻ヒロは、旧喜連川町出身で、雨情は、さくら市を何度も訪れ多くの作品を残している。その雨情の原稿や書、楽譜など貴重な品々を展示



企画展示室

現代作家の日本画・洋画・版画・彫刻の館蔵コレクションを展示。荒井孝、松本哲男、森田茂、さくら市在住の杉山吉伸、出身の窪井裕美など主に栃木県にゆかりのある作家の紹介。また、館独自の歴史・美術・民俗・自然等に関する企画展を開催



自然・歴史・文化展示室

鬼怒川のれき河原の自然、喜連川地区を中心とする里地・里山の自然、古代・東山道、中世・奥大道、近世・奥州道中など地域を結ぶ時代の道を軸とした歴史、喜連川御城下の由緒と伝統、この地で生まれ、継承された文化を展示



鋸展示室

旧氏家町出身の鋸研究家・吉川金次コレクションと関連資料約300点により、鋸の発達の歴史と多種多様な種類の鋸及び日本の木工職人を代表する大工の道具を展示。また、鋸鍛冶の現場を実物大で展示



市民ギャラリー

市民等をはじめ、美術愛好家・絵画サークル等の方々が、芸術・文化の成果を気軽に発表・鑑賞できるスペース。主に絵画・彫刻・書・写真・陶工芸・立体造詣・現代美術等の展示が可能



(3) 主な事業

令和6年度事業実績 年間来館者数 23,283人

《企画展》

企画展名	詳細・入館者数
 第27回 日本画 西洋画 工芸美術 書 作家展 びくろミュージアム 展示能力拡張版 令和6年3月23日(土)～5月6日(月・祝)	第27回 栃木日展作家展 4月1日(日)～5月6日(月) 日展で活躍する栃木県ゆかりの作家による展覧会。 日本画・洋画・工芸美術・書の各部門にわたる力作を展示。 【入館者数】2,881人 【開館記念日ギャラリーコンサート】石塚凜氏 参加者53人
 時の鏡 ～収蔵品～ 現在・過去・未来 5月18日(土)～7月7日(日) 5月18日(土)～7月7日(日) 歴史、民俗、美術のジャンルから収蔵品を展示。 【入館者数】1,934人	時の鏡 収蔵品に見る現在・過去・未来 5月18日(土)～7月7日(日) 歴史、民俗、美術のジャンルから収蔵品を展示。 【入館者数】1,934人
 動物ワクワク骨格標本 ～ホネから見える動物のくらし～ 令和6年 7月20日(土)～8月25日(日) 動物の骨格標本と剥製標本を展示し、動物の骨の仕組みや謎に迫る展覧会。 【入館者数】4,611人 【ギャラリーコンサート】 「地球の音色」サンポーニヤの響き 瀬木貴将氏 参加者100人	栃木県立博物館移動博物館 夏休み 動物ワクワク骨格標本 ～ホネから見える動物のくらし～ 7月20日(土)～8月25日(日) 動物の骨格標本と剥製標本を展示し、動物の骨の仕組みや謎に迫る展覧会。 【入館者数】4,611人 【ギャラリーコンサート】 「地球の音色」サンポーニヤの響き 瀬木貴将氏 参加者100人
 第84回 国際写真サロン展 The 84th International Photographic Salon 令和6年9月14日(土)～10月6日(日) 世界各国からの応募作品の中から選ばれた現代写真アートの最先端を展示。 【入館者数】1,652人 【ギャラリートーク】鈴木是清氏 参加者60人	第84回 国際写真サロン展 9月14日(土)～10月6日(日) 世界各国からの応募作品の中から選ばれた現代写真アートの最先端を展示。 【入館者数】1,652人 【ギャラリートーク】鈴木是清氏 参加者60人

企画展名

詳細・入館者数



第79回 春の院展 栃木展

10月19日(土)～11月24日(日)

春に開催される日本美院主催「春の院展」の巡回展。

同人作家をはじめ、受賞作品、栃木県にゆかりの作家の作品90点を展示。

【入館者数】5,522人

【記念行事】開幕式・記念対談・サイン会 参加者200人

【記念講演会①】宮北千織氏 参加者50人

【記念講演会②】荒井孝氏、窪井裕美氏 参加者70人

【記念講演会③】岸野香氏 参加者60人

【記念講演会④】杉山寒月氏 参加者70人

【宮北千織先生のデッサン教室】宮北千織氏 参加者15人

【岸野香先生の日本画教室】岸野香氏 参加者26人



第22回 こども絵画展

【同時開催】むかしのくらしの道具展

12月7日(土)～12月22日(日)

さくら市内のこどもたちから応募された絵画作品257点を展示。

【入館者数】1,856人

【記念行事】表彰式 参加者200人



第28回 栃木日展作家展

1月11日(土)～3月2日(日)

日展で活躍する栃木県ゆかりの作家による展覧会。

日本画・洋画・工芸美術・書の各部門にわたる力作を展示。

【入館者数】3,534人

【記念行事】オープニングセレモニー・ギャラリートーク

参加者140人



さくら市制20周年記念 写真で見る さくら市今昔

【同時開催】特別展示 珠玉のART 収蔵逸品展 ～近年の収蔵作品より～

3月15日(土)～3月30日(日) (5月6日(火)まで)

さくら市が誕生して20年、改めてこれまでの地域文化、歴史に思いを馳せ、さくら市の歴史を写真画像で紹介。

【入館者数】1,293人

【ギャラリーコンサート】「あの日のふるさと」～ピアノと弦楽四重奏～

落合崇史氏、廣田碧氏、森麻祐子氏、塚本遼氏、田辺純一氏 参加者110人

【特別講演会】中島千波氏、中島美子氏 参加者85人

《講座》

参加人数(人)

6月1日、22日	時の鏡 展覧会見どころ解説	当館学芸員	12
6月8日、7月6日	ミュージアムデビュー	当館学芸員	9
6月29日	氏家喜連川歴史文化研究会講演会 「地方官衙と東山道～上神主・茂原官衙遺跡出土の刻書瓦について～」	今平利幸氏	50
12月7日	氏家喜連川歴史文化研究会特別講演会 「荒井寛方筆『暮れゆく秋』にみる近代絵画の風景表現」	三上美和氏	20
12月14日	お丸山会議 第5回歴史講演会 「古河公方について」	永用俊彦氏	85
1月25日	氏家喜連川歴史文化研究会特別講演会 「くしもつかれ」の方言地図を読むー料理の内容とその歴史に照らして」	新井小枝子氏	40
2月22日	お丸山会議 第6回歴史講演会 「豊臣秀吉の宇都宮仕置と喜連川家の誕生」	江田郁夫氏	96

《館外講座》

参加人数(人)

9月10日	喜連川中学校 総合的な学習講話 「さくら市の偉人」、「さくら市の文化財」、「奥州街道」 「喜連川氏」	当館学芸員	38
2月16日	歴文研 史跡めぐり 喜連川を歩く	当館学芸員	30
2月21日	シルバー大学校 出前授業	当館学芸員	22

《体験学習・ワークショップ》

参加人数(人)

4月14日	【栃木日展作家展】日本画ワークショップ	中村眞氏	12
4月21日	【栃木日展作家展】工芸美術ワークショップ	谷口勇三氏	13
4月29日	【栃木日展作家展】書 席上揮毫会	日賀野琢氏 川上鳴石氏 赤澤寧生氏	100
5月3日	【栃木日展作家展】洋画ワークショップ	大谷喜男氏	21
7月21日	【動物ワクワク骨格標本】勾玉づくり体験	当館学芸員	33
7月28日	【動物ワクワク骨格標本】移動講座 ホネほね教室	小笠原佑氏	29
10月29日～11月20日	春の院展「鑑賞教室」(小学校5学年) 氏家小、押上小、熱田小、上松山小、南小、喜連川小	当館学芸員	422
11月6日	喜連川中学校1学年 総合的な学習・勝山城址見学	当館学芸員	35
11月20～22日	氏中マイチャレンジ	当館学芸員	5
12月12日～1月30日	小学校3学年体験学習 学校連携事業「むかしのくらし体験」 押上小、熱田小、上松山小、南小、喜連川小	当館学芸員	282

《市民ギャラリー》

観覧者数(人)

5月30日～6月2日	キルトタイムパッチワーク作品展	キルトタイム	221
6月19日～6月23日	第26回 塩谷地区美術協会展	塩谷地区美術協会	197
8月22日～8月25日	第29回 さくら市美術協会展	さくら市美術協会	338
9月20日～9月23日	第14回 ニッコールクラブ鬼怒支部写真展	ニッコールクラブ鬼怒支部	214
9月27日～9月29日	第34回 さくら市書道連盟展	さくら市書道連盟	148
10月1日～10月6日	アトリエ野バラ 布花展	アトリエ野バラ	310

《うじいえ自然に親しむ会との共催事業》

参加人数(人)

5月18日	シルビアシジミ観察会	高橋伸拓氏	10
5月18日	総会	高橋伸拓氏	30
8月3日	セミの羽化観察会(協)	高橋伸拓氏	59
8月11日	夏休み昆虫観察会(協)	高橋伸拓氏	109
8月24日	水辺の生きもの観察会	高橋伸拓氏	77

《歴史文化研究会との共催事業》

参加人数(人)

6月29日	総会	海老原郁雄氏	15
12月21日	寛方講座「ベンガル近代美術とタゴール家」	志田康宏氏	13
2月8日	寛方講座「寛方資料・作品からみる歴史画とその時代」	当館学芸員	10
2月15日	寛方講座「法隆寺と寛方②」	中野英男氏	30
毎月第1土曜	渡辺清絵日記を読む会	歴史文化研究会会員	16

《さくら市ミュージアム友の会との共催事業》

参加人数(人)

4月29日	総会	角田静雄氏	25
5月22日・10月2日	ミュージアム前庭の花植え(年2回)	さくら市ミュージアム友の会会員	24

《活動団体(さくら市ミュージアムと連携して活動する団体)》

団 体 名	会員数	活 動 内 容
さくら市ミュージアム友の会	144人	研修、会報の発行、ミュージアム主催事業への協力
寛方・タゴール会(休会中)	36人	日印文化交流に関する事業の主催及び協力
うのはな手まりの会	18人	第1・3日曜日 研究会開催、年1回の作品展
氏家・喜連川歴史文化研究会	43人	講座・見学会の開催、民俗調査等の実施、会報・会誌の発行
うじいえ自然に親しむ会	155人	身近な自然に親しみながら観察会、学習会などを開催
さくら民話の会	7人	第1・3火曜日 昔語り地域の民話の学習会、むかし語りや読み語りの活動

(4) 文化財の保護

ア 文化財の指定、保護、啓発活動

後世に残る歴史、民俗、史跡、天然記念物の調査、保護、保存、啓発活動を行う。また、文化財の資料的価値や状況によって特に必要と認められるものを指定し、保護する。

さくら市指定文化財で、修理等が必要なものについて、修理費等の補助を行う。

イ 埋蔵文化財の調査、保護

埋蔵文化財包蔵地の周知と、開発等に伴う調整を行う。必要に応じて、試掘調査や発掘調査を行い、発掘現場説明会を実施するなど、普及啓発活動にも努める。



さくら市天然記念物 将軍桜



さくら市史跡 勝山城跡

ウ 瀧澤家住宅等の管理と利活用

栃木県指定文化財瀧澤家住宅、堂原地蔵堂境内の管理や利活用を行っている。

瀧澤家住宅は全体の修理を終え、令和元年8月10日より一般公開をしている。

堂原地蔵堂境内では、建造物や樹木管理、清掃などの業務を継続的に行う。



栃木県指定文化財（建造物）
瀧澤家住宅（鐵竹堂）

《瀧澤家住宅公開事業》 令和6年度入館者数 2,521人 《実施イベント》

月 日	イベント名	内 容	来館者数
5月24日～26日	【企画展】 山野草展	山野草愛好会会員による作品展	157人
5月31日 ～6月2日	【企画展】 さくら市盆栽会作品展	さくら市盆栽会会員による作品展	218人
6月1日	さくら市盆栽会作品展 盆栽講習会	日本盆栽協会・盆栽インストラクター高橋英雄氏による盆栽の話	37人
6月19日 ～7月21日	【企画展】 うのはな手まりの会 ようこそ 手まりの世界へ	うのはな手まりの会会員による作品展	198人
8月6日～25日	【企画展】 下野手仕事会展	下野手仕事会会員による作品の展示	163人
8月11日	間々田ひも ストラップ作り	渡邊靖久氏による体験教室	11人
8月17日	マクラメ編み ストラップ作り	卯野サチ子氏による体験教室	6人
8月25日	竹工芸 小物入れかご作り	八木澤正氏による体験教室	6人
8月25日	下野しぼり カード入れ作り	諏訪ちひろ氏による体験教室	6人
10月5日 ～11月4日	【企画展】 U-CLID 7 EXHIBITION	神山亜希子（絵画）、高野篤（ギター）、根岸栄介（写真）、島田琴絵（陶芸）によるグループ展	193人
10月5日	オープニング・ギャラリートーク、 スペシャルコンサート	U-CLIDメンバーによるギャラリートーク、展示ウクレレを使用した、齋藤祐輝氏のスペシャルコンサート	45人
10月20日	ワークショップ 陶芸－手びねり体験－	島田琴絵氏による手びねり陶芸体験ワークショップ	10人
11月8日～10日	【企画展】 山野草展（秋）	山野草愛好会会員による作品展	51人
2月8日～3月3日	第22回氏家雛めぐり	氏家雛めぐり実行委員会主催の雛人形の展示	1,132人
2月23日	さくら市指定無形民俗文化財 特別公演 代々岩戸神楽・野州田植唄	代々岩戸神楽保存会 野州田植唄保存会	30人
3月20日～30日 （5/6まで）	【企画展】 高野浩展	さくら市喜連川出身の水彩画家、高野浩の作品展。	80人

V 社会体育

1 社会体育の目標、基本方針

市民の健康づくり意識の高まりに伴い、スポーツ・レクリエーションへの関心も高まっており、誰もが気軽にスポーツ等の活動が楽しめる環境づくりが求められている。

このような中、近年は集団的活動より個人活動が好まれるなど、価値観も多様化しており、スポーツへの関わり方についても変化してきている。

このため、市民ニーズを的確に把握しながら、「市民ひとり^{いち}スポーツ」の推進に取り組んで行く必要がある。

子どもから高齢者まで、誰もがそれぞれのライフスタイルに応じた多様なスポーツ活動ができるよう、また、健康づくりや生きがいづくりができるよう諸施策を講じながら、生涯スポーツ社会の実現を目指すものとする。

2 本年度の重点目標

(1) 生涯スポーツの推進

- ア 市民のスポーツ活動を推進するため、各種教室・各種大会を開催し、体力の維持・増進を図る。
- イ 年齢・性別を問わず、誰もが気軽に楽しめるニュースポーツの振興を図るため、ニュースポーツ教室を開催し、スポーツに参加できる機会の充実に努める。
- ウ スポーツを通し、高齢者や障がいのある方が積極的に社会との関わりを持てるよう、いきいきスポーツ教室認定団体や障がい者スポーツ指導員の継続的な育成に取り組む。
- エ 市民がスポーツに取り組む際に、そのニーズに対応できる指導者やボランティアの育成を支援するため、生涯スポーツ指導者講習への参加促進やスポーツ推進委員の加入推進を図る。
- オ 栃木SCと締結した「スポーツを核とする元気で健康な地域づくり包括連携協定」に基づき、市民デーやサッカー教室の開催など、未来につながる人材育成や学習機会の創出につながる事業に取り組む。

(2) スポーツ施設の整備・利用促進

- ア 多くの市民がスポーツ活動のできる拠点・環境づくりのため、施設の適正な維持管理を行い、各スポーツ施設の整備・充実に努める。また、施設の利用促進及び有効活用を図る。
- イ スポーツ施設ストック最適化計画及びプール最適化計画を策定し、適正なスポーツ施設の整備・管理を図る。

スポーツ施設・利用案内の詳細 ⇒



3 社会体育関係団体・委員会

(1) スポーツ推進審議会（9名以内 任期2年）

スポーツ基本法に規定するもののほか、教育委員会の諮問に応じてスポーツ振興に関する次に掲げる事項について調査・審議し、及びこれらの事項に関して建議する。

- ア スポーツ施設及び設備の整備に関すること
- イ スポーツの指導者の養成及びその資質の向上に関すること
- ウ スポーツの事業の実施及び奨励に関すること
- エ スポーツの団体の育成に関すること
- オ スポーツによる事故の防止に関すること
- カ スポーツの技術水準の向上に関すること
- キ 前各号に掲げるもののほか、スポーツの振興に関すること

(2) スポーツ推進委員（29名以内 任期2年）

スポーツ基本法に基づきスポーツ推進委員は、市の社会体育・スポーツ活動の普及とその任務遂行のため、委員相互の研修ならびに融和を図り、明朗で健全な精神を養いながら地域住民の体力づくりに寄与する。

- ア 住民の求めに応じてスポーツの実技の指導を行うこと
- イ 住民のスポーツ活動の促進のための組織の育成を図ること
- ウ 学校、公民館等の教育機関その他行政機関の行うスポーツの行事又は事業に関し協力すること
- エ スポーツ団体その他の団体の行うスポーツに関する行事又は事業に関し、求めに応じ協力すること
- オ 住民一般に対しスポーツについての理解を深めること
- カ 前各号に掲げるもののほか、住民のスポーツの推進のための指導助言を行うこと

(3) 体育施設運営審議会（11名以内 任期2年）

体育施設の適正な運営を図るため、教育委員会の諮問に応じ、次の各号について調査審議する。

- ア 体育施設の適切な利用管理に関すること
- イ 条例第10条に規定する施設利用料の減免に関すること
- ウ 施行規則第2条第2項に規定する施設の臨時休業に関すること
- エ 体育以外の目的による利用許可に関すること
- オ その他施設の管理運営に特に必要と認める事項

(4) スポーツ協会

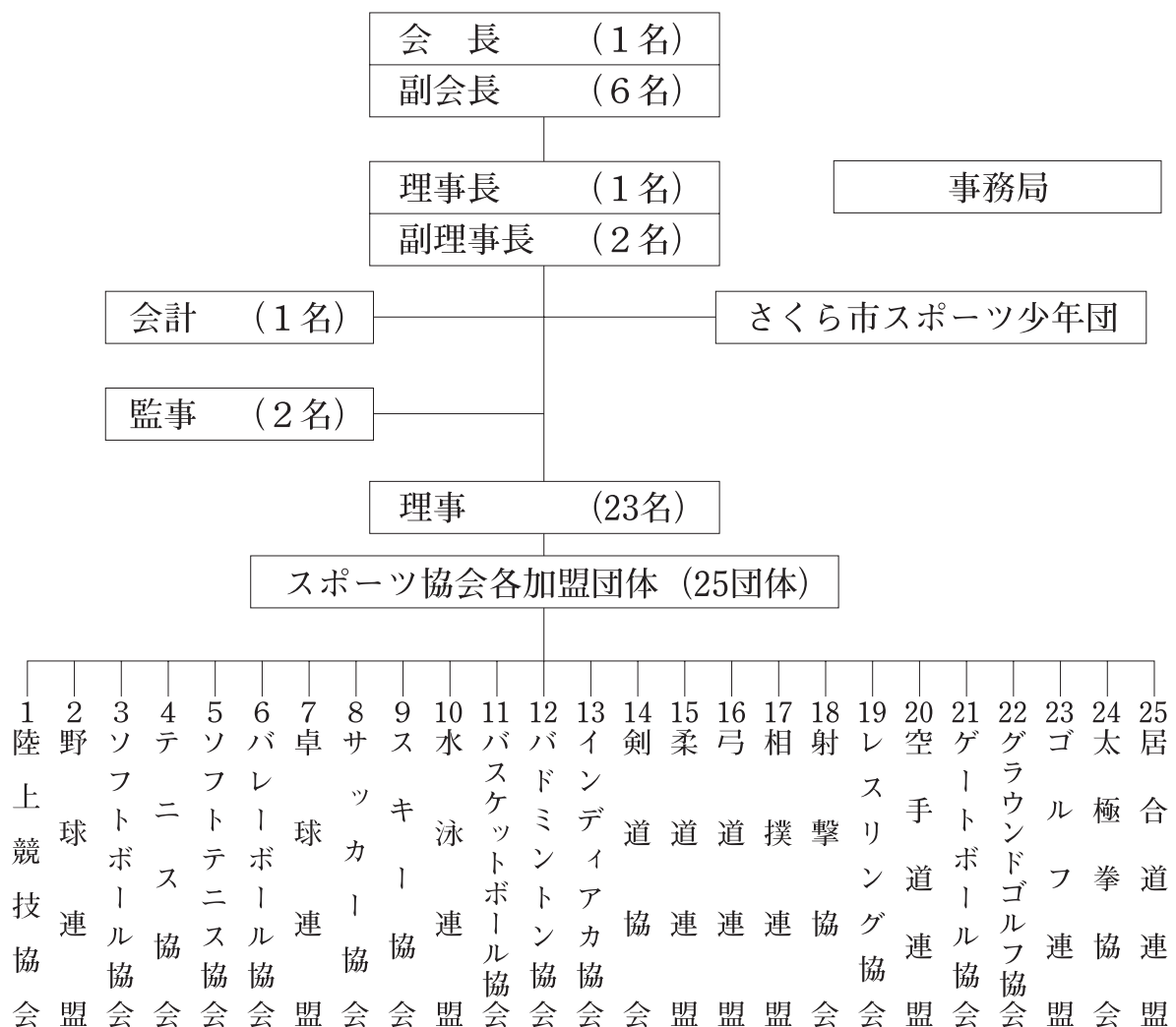
市のスポーツを振興し、生涯スポーツ活動の普及発達による市民の体力向上と健全なスポーツ精神の育成に努めるとともに、明るく豊かで潤いに満ちた生活と文化の形成に寄与することを目的とする。

ア 事業

目的を達成するために、次の事業を行う。

- (ア) 生涯スポーツ振興発展に向けた基本方針の確立と調査研究に関すること
- (イ) 加盟団体の組織強化と相互の連絡融和を図ること
- (ウ) スポーツの振興と競技力の向上に関すること
- (エ) スポーツ大会、練習会、その他のスポーツ行事の開催に関すること
- (オ) スポーツ少年団の育成に関すること
- (カ) その他本協会の目的達成に必要な事業に関すること

イ 組織

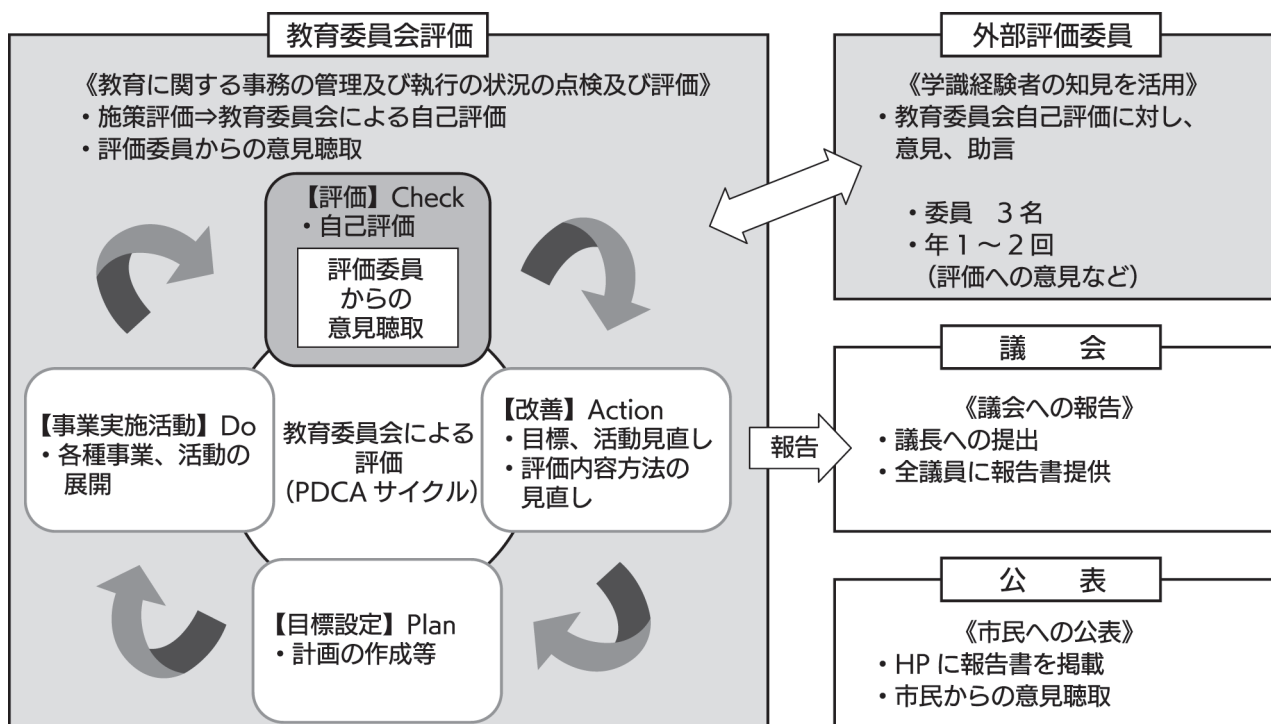


VI 外部評価委員会

1 点検評価制度導入の経緯

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が一部改正され、「教育委員会は学識経験者の知見を活用し、活動状況の点検・評価を行うこと」となった。すべての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理および執行の状況について点検・評価を行い、報告書にまとめた上で、議会へ提出するとともに、公開することが定められた。これに基づき、さくら市教育委員会では事務の点検と評価を実施している。

2 評価のしくみ



3 外部評価委員

氏 名	選出分野	経 歴 ・ 所 属
小 林 邦 夫	学校教育分野 生涯スポーツ分野	さくら市スポーツ協会副会長 さくら市スポーツ推進審議会委員 元栃木県立高校校長
長 嶋 孝 子	生涯スポーツ分野 社会教育分野	オピニオンリーダー 栄養士 元さくら市スポーツ推進委員
高 野 美智子	社会教育分野 学校教育分野	さくら市博物館協議会委員 地域と学校を結ぶコーディネーター

各種委員名簿

さくら市教育支援委員会委員

任期:令和8年3月31日まで

No.	氏 名	備 考
1	おののみか 小野三佳	小児科医
2	やまのしな 山科いづみ湖	氏家中スクールカウンセラー
3	むらかみけいこ 村上恵子	喜連川中スクールカウンセラー
4	かとうじゅんいち 加藤準一	養徳園園長
5	きつかわやすえ 吉川泰江	南那須特別支援学校教諭
6	なかやまさなえ 中山早苗	氏家幼稚園園長
7	こにしまみ 小西真美	こども発達支援センターピーち児童発達支援管理責任者
8	おおとひでき 大登英樹	喜連川小学校 校長
9	くろだあつこ 黒田敦子	氏家小学校 校長
10	すずきみつこ 鈴木光子	氏家小学校 教諭
11	くさかべあつこ 日下部淳子	押上小学校 教諭
12	おおしまよしえ 大島好枝	熟田小学校 教諭
13	すずきかずま 鈴木一磨	上松山小学校 教諭
14	こばやしえりか 小林絵梨香	南小学校 教諭
15	はしもとようこ 橋本陽子	喜連川小学校 教諭
16	やまもとひろえ 山本宏江	氏家中学校 教諭
17	あだちあかり 安達あかり	喜連川中学校 教諭
18	きみじまきよみ 君島清美	たいよう保育園 園長
19	しばやまあきこ 柴山晶子	福祉課 障がい福祉係長
20	ふくだあきこ 福田明子	こども家庭センター 子育て世代支援係 主任
21	たにふじくにこ 谷藤久仁子	学校教育課 スクールソーシャルワーカー
22	はんだゆうこ 半田有子	学校教育課 臨床心理士

委員長 大 登 英 樹
副委員長 黒 田 敦 子

さくら市社会教育委員及び公民館運営審議会委員

任期：令和7年4月1日～令和9年3月31日

No.	氏 名	備 考
1	に へい ひろ ゆき 仁 平 博 幸	押上小学校長
2	か どう まこと 加 藤 誠	喜連川中学校長
3	きた むら とよ こ 北 村 豊 子	スポーツ活動（スポーツ協会）
4	ちん じゅ な ほ み 鎮 守 奈穂美	図書館活動（読み聞かせボランティア）
5	こ じま よう こ 小 嶋 洋 子	家庭教育活動（オピニオンリーダー・主任児童委員）
6	ふな もと ゆき み 舟 本 幸 美	青少年育成活動（元少年指導員）
7	いし はら のり え 石 原 功 江	県次世代人材づくり事業研修修了生
8	つの だ ふみ え 角 田 文 江	博物館活動（さくら民話の会）
9	おち あい たか し 落 合 崇 史	作曲家
10	つ うら ゆき お 津 浦 幸 夫	学識経験者（元喜連川小学校校長・社会教育主事）
11	み しば ゆき え 三 柴 由 江	公民館活動
12	すず き まさる 鈴 木 勝	文化芸術活動（氏家喜連川歴史文化研究会）
13	いい じま みつる 飯 島 満	青少年育成活動
14	こ ばやし かず ひろ 小 林 和 弘	学識経験者（元氏家中学校校長・社会教育主事）
15	わた なべ とし ゆき 渡 邊 利 幸	自治公民館活動（自治公民館連絡協議会）

委 員 長 津 浦 幸 夫
副委員長 舟 本 幸 美
副委員長 小 林 和 弘

さくら市図書館協議会委員

任期:令和7年4月1日～令和9年3月31日

No.	氏 名	備 考
1	つ 浦 幸 夫 津 浦 幸 夫	社会教育委員（委員長）
2	こ 嶋 洋 子 小 嶋 洋 子	社会教育委員
3	おお かど ゆり 恵 大 門 ゆり 恵	学校代表（上松山小学校）
4	すず き さと み 鈴 木 智 美	学校代表（氏家中学校）
5	わた なべ ゆき お 渡 邊 幸 雄	学識経験者（元押上小校長）
6	ふ にゆう ゆき え 船 生 幸 枝	利用者代表（アリスの会）
7	さい どう あけ み 斎 藤 暁 美	利用者代表（バーバママ）
8	つの だ ふみ え 角 田 文 江	利用者代表（さくら民話の会）
9	ほそ だ よう こ 細 田 洋 子	利用者代表（喜小応援隊）

会 長 角 田 文 江
副会長 船 生 幸 枝

さくら市博物館協議会委員

任期:令和7年4月1日～令和9年3月31日

No.	氏 名	備 考
1	かね こ たつ 金 子 立	学識経験者／氏家喜連川歴史文化研究会／今宮神社宮司
2	おか かず お 岡 一 雄	学識経験者／氏家喜連川歴史文化研究会／医師
3	たか の み ち こ 高 野 美智子	学識経験者／地域と学校を結ぶコーディネーター
4	つな かわ さかえ 綱 川 榮	学識経験者／下野新聞社 特別編集委員
5	いわ さき たかし 岩 崎 崇	学識経験者／まちづくりモニター／さくら市生涯学習推進協議会
6	ふ にゅう まさ おき 船 生 正 興	学識経験者／高校教諭／美術教育
7	と い いず る 戸 井 出 琉	学識経験者／元（株）電通営業局長／市民活動
8	あら かわ あき ひで 荒 川 明 英	学識経験者／西導寺住職
9	き むら さおり 木 村 さおり	学識経験者／いけばな草月流師範会理事／さくら市茶華道協会会員
10	くろ だ あつ こ 黒 田 敦 子	学校教育及び社会教育の関係者／氏家小学校校長／さくら市校長会長

さくら市文化財保護審議会委員

任期:令和7年4月1日～令和8年3月31日

No.	氏 名	備 考
1	え び はら いく お 海老原 郁 雄	考古 栃木県考古学会顧問
2	なか の ひで お 中 野 英 男	民俗 元さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－館長
3	ひら かわ しん ご 平 川 晋 吾	美術 元宇都宮大学教授
4	しの はら ひろ え 篠 原 浩 恵	考古 （公財）とちぎ未来づくり財団 栃木県埋蔵文化財センター
5	ふか お そう じゅん 深 尾 宗 淳	歴史 龍光院住職
6	あお き じん や 青 木 仁 也	建造物 一級建築士
7	え び はら さち こ 海老原 幸 子	歴史 さくら市観光ボランティアの会／さくら民話の会
8	すず き まさる 鈴 木 勝	歴史 氏家喜連川歴史文化研究会／元那珂川町なす風土記の丘資料館館長
9	たか はし のぶ ひろ 高 橋 伸 拓	自然 特定非営利活動法人水辺環境保全研究所理事長
10	え だ いく お 江 田 郁 夫	歴史 宇都宮短期大学教授／元さくら市氏家町史編さん専門委員

さくら市生涯学習推進協議会委員

任期：令和7年4月1日～令和9年3月31日

No.	氏 名	備 考
1	たか の あつし 高 野 篤	さくらまちあそびクラブ主宰
2	と おら とし ゆき 戸 村 敏 之	元市職員
3	はや かわ たつ や 早 川 達 也	まちづくりボランティア
4	いわ さき たかし 岩 崎 崇	環境保護活動
5	こ さか か よ こ 小 坂 佳代子	教員、でまえ学び塾講師
6	やま もと とも よ 山 本 智 代	スポーツ推進活動
7	いい おら みつ よ 飯 村 充 代	文化財保存活動
8	さか もと ひで こ 坂 本 秀 子	まちづくり活動実践者
9	すぎ た まさ ひこ 杉 田 雅 彦	県地域協働推進員、公民館講座講師（音楽）
10	ふじ た とも こ 藤 田 智 子	シテ方観世流能楽師
11	えい らく あい こ 永 楽 藍 子	市民大学修了生
12	せき ぐち ひとし 関 口 仁	市民大学修了生
13	わた なべ ふみ か 渡 邊 文 香	未来塾学習サポーター、防災士ママくらぶさくら
14	たか はし こう へい 高 橋 航 平	教員、未来塾学習サポーター
15	たま たに ゆう へい 玉 谷 有 平	行政（総合政策課）

会 長 早 川 達 也
副会長 岩 崎 崇
副会長 小 坂 佳代子

さくら市青少年センター運営協議会委員

任期:令和7年4月1日～令和9年3月31日

No.	氏 名	備 考
1	さい とう ひで お 齋 藤 秀 夫	青少年センター少年指導員会会長
2	か とう あき よ 加 藤 明 代	青少年センター少年指導員会副会長
3	こ ぐち つとむ 小 口 勤	栃木県青少年育成指導員
4	かさ い ゆう いち 笠 井 勇 一	民生委員児童委員協議会連合会長
5	よし ざわ ひろ ぶみ 吉 澤 博 文	市子ども会連合会会長
6	き おら りょう すけ 木 村 亮 介	さくら警察署生活安全課長
7	に へい ひろ ゆき 仁 平 博 幸	押上小学校長 市校長会代表
8	お がわ ゆき か 小 川 幸 香	喜連川中学校 生徒指導主事
9	きた はら やす たか 北 原 靖 崇	熟田小学校 児童指導主任
10	ね もと ひろ あき 根 本 広 昭	学校教育課 指導主事（児童・生徒指導）
11	か とう じゅん いち 加 藤 準 一	児童養護施設 養徳園園長
12	しま ひで お 島 英 生	喜連川少年院 庶務課長
13	すず き く み こ 鈴 木 久美子	上松山児童センター長

会 長 小 口 勤
副会長 笠 井 勇 一

さくら市青少年センター少年育成サポーター

任期：令和7年4月1日～令和9年3月31日

No.	氏 名	備 考
1	飯 島 満	社会教育委員
2	大河原 千 晶	さくら市議会議員／ネット利用アドバイザー
3	大 貫 哲 男	さくら市職員
4	岡 田 敏 子	さくら市更生保護女性会／さくら市社会福祉協議会理事
5	岡 村 浩 雅	さくら市議会議員
6	小 澤 明 美	相談支援員兼就労支援員／元中学校教諭／児童福祉司／烏山和紙福長押絵 教授
7	加 藤 明 代	さくら市子ども会連合会副会長
8	加 藤 朋 子	さくら市議会議員／ネット利用アドバイザー
9	加 藤 英 雄	氏家中学校学校スクールサポーター／元熟田小PTA会長
10	神 山 由里子	さくら市小学校非常勤講師
11	小 池 洋 子	更生保護女性会／JA女性会／防災士／ヘルパー 2 級
12	齋 藤 秀 夫	フリースクール アウトドアスクール経営者／元熟田小学校PTA会長
13	佐 藤 朋 子	放課後子ども教室サポーター
14	鈴 木 久美子	上松山児童センター長／保護司／県薬物乱用防止指導員
15	相 馬 裕 子	家庭教育オピニオンリーダー「ミミィの会」会員
16	滝 口 尚 子	家庭教育オピニオンリーダー「ミミィの会」会員
17	瀧 澤 照 子	更生保護女性会／元さくら市社会福祉協議会職員／（社）憂心会理事
18	手 塚 春 美	元放課後子ども教室サポーター
19	永 井 孝 叔	さくら市議会議員
20	福 田 克 之	さくら市議会議員／ネット利用アドバイザー
21	村 上 佳 彦	高校非常勤講師／元さくら市社会教育指導員
22	渡 邊 能 辰	さくら市観光ボランティアの会会員／さくら市男女参画推進委員
23	村 井 知 佐	塾講師
24	横 塚 一 徳	さくら市職員

会 長 齋 藤 秀 夫
副会長 加 藤 明 代
副会長 加 藤 英 雄

さくら市スポーツ推進委員

任期：令和7年4月1日～令和9年3月31日

No.	氏 名	備 考
1	いん なみ ま ゆみ 印 南 眞 弓	バレーボール
2	さい どう み ち こ 齋 藤 美智子	バレーボール
3	とお やま こ 遠 山 あい子	バレーボール
4	ふく だ たか ゆき 福 田 貴 之	陸上
5	やま もと とも よ 山 本 智 代	レクリエーション
6	よし おら のぼる 芳 村 昇	ソフトバレーボール
7	や た かつ み 谷 田 勝 美	バスケットボール
8	なか だ じゅん や 中 田 準 也	陸上
9	あら い みち こ 荒 井 路 子	バレーボール
10	なか ざわ かつ ゆき 仲 澤 克 之	野球・ソフトボール
11	いし ざき み さ こ 石 崎 美佐子	バレーボール
12	かる べ しん いち 軽 部 真 一	ソフトバレーボール
13	やま なか のぼる 山 中 昇	卓球
14	お の やす のり 小 野 泰 紀	弓道・陸上
15	おお さわ とし ゆき 大 澤 敏 行	卓球
16	や た ゆき まさ 谷 田 幸 政	剣道
17	て つか かおり 手 塚 香	バレーボール
18	ひ ぐち りょう 樋 口 良	陸上・水泳
19	いい たか けい こ 飯 高 景 子	卓球
20	あら い ゆ み こ 荒 井 由美子	バレーボール
21	たか はし かつ ひと 高 橋 克 仁	サッカー
22	きた おか しん いち 北 岡 伸 一	卓球
23	なが おか まさ かず 永 岡 正 和	サッカー
24	おお の こう や 大 野 公 也	空手
25	うす い たか ゆき 碓 氷 剛 之	野球・水泳

会 長 山 本 智 代
副会長 芳 村 昇
副会長 福 田 貴 之

さくら市スポーツ推進審議会委員

任期：令和7年4月1日～令和9年3月31日

No.	氏 名	備 考
1	こ ばやし くに お 夫 小 林 邦 夫	学識経験のある者（元県立高等学校校長）
2	こ ぼり とも こ 子 小 堀 智 子	学識経験のある者（元スポーツ協会副会長）
3	いい だ みち お 夫 飯 田 径 夫	学識経験のある者（元スポーツ推進委員会会長）
4	の なか ひろし 野 中 洋	学識経験のある者（元スポーツ協会会長）
5	ご え ぶち けん いち 五江 渕 賢 一	スポーツ団体の代表者（スポーツ協会副会長）
6	やま もと とも よ 代 山 本 智 代	スポーツ団体の代表者（スポーツ推進委員会会長）
7	さい とう とし かず 齋 藤 敏 一	スポーツ団体の代表者（スポーツ協会会長）
8	しば やま よし なり 柴 山 能 成	スポーツ団体の代表者（スポーツ協会副会長）
9	さくら い ひろ ぶみ 櫻 井 広 文	関係行政機関の職員（教育委員会次長）

さくら市体育施設運営審議会委員

任期：令和7年4月1日～令和9年3月31日

No.	氏 名	備 考
会長	はし もと けい じ 橋 本 啓 二	審議会規則第7条（教育長）
1	せき かつ ひさ 関 和 久	市職員（総合政策部長）
2	そえ た たつ お 添 田 達 央	市職員（建設部長）
3	や ぎ さわ かつ ひろ 八木 澤 和 弘	市職員（学校教育課長）
4	すず き ひさ よし 鈴 木 久 祥	市職員（生涯学習課長）
5	くろ だ あつ こ 黒 田 敦 子	県職員（校長会会長）
6	さい とう とし かず 齋 藤 敏 一	市スポーツ協会会長
7	せき や えい いち 関 谷 栄 一	市内職場代表
8	きた むら とよ こ 北 村 豊 子	一般市民
9	よし ざわ あき えい 吉 澤 昭 栄	一般市民
10	すず き けい 鈴 木 桂	一般市民

令和7年度
さくら市の教育（教育要覧）

発行日 令和7年7月1日
編集 さくら市教育委員会
発行人 橋本 啓二
〒329-1492 さくら市喜連川4420番地1
電話 028-686-6620



日本を代表する桜の日本画家である中島千波氏が、
氏家小学校の桜、大志桜を描きました。
中島氏が丹念にスケッチをして作品にした大作は、
現在さくら市ミュージアムに収蔵されています。

2025